

vol.2

南国暮らし夢の会

会報

1998秋季号



平成10年9月15日

## 目 次

敬称略

◇表 紙	イラスト … 長谷川 登志郎
◇目 次	1 頁
◇会長挨拶	2
◇秋季例会案内	3
◇アンケート集計（第2回）	4 ~ 7
◇臨時東京例会での情報公開の要旨	8 ~ 10
◇会員からの体験記 他の投稿	
・美しさと喧騒のなかにフィリピンの活気を見た！	竹村 毅俊 11
・よたび ・四度のフィリピン	鈴木 英吉 12~13
・南国暮し夢の会に希望を託して	H. A 14
・セブ島に魅せられ	小竹 弘昭 15
・南国の夢が現実になるとき	長谷川 登志郎 16
◇フィリピン最新事情	17~23
〈出所〉伊藤忠商事（株）G フィリピン工業団地開発関係資料	
・提供者 … 小田原市 青柳	
◇フィリピンの現況	24~27
〈出所〉日本経済新聞フィリピン特集記事	・提供者 … 小田原市 青柳
◇フィリピン日本人居住地探訪ツアー案内	28
◇会員動向	29~31
(発足総会以降の入会者名簿、住所変更、字句訂正及び退会者)	
◇南の会収入と支出の集計	32
(会計担当役員交替による引継ぎ資料 ・H9.11 ~ H10.5.31 )	
◇役員会議事録	33~37
◇事務局から	38
◇後 記	38
※秋季例会参加申込書及びフィリピン探訪ツアー参加調査	欄外

## 「南の会」 会員の皆様へ

1998年9月吉日

会長 竹内 司

夏の季節もうつり、朝晩の風は涼しい今日このごろ皆様お元気にお過ごしの事と存じます。

「南の会」の会報第2号を発行する事が出来ることはこの上ない喜びです。

会員数も本会発足以来半年足らず（9月15日現在）で93組（130名）を数えるまでに至りました。

8月には学校の先生をはじめ、体験滞在の会員が続き そして皆様フィリピンファンに変身されて帰国されたのを喜んでいます。

この南の会の特色は、無償奉仕で役員の方々が会を育てゝ下さっている事です。そして「夢の村」の建設が始まりましたら、お手伝いを希望される会員の方が3名も名乗り出て下さり感激を新たにしています。

会員の内、一割程度の確率で「夢の村」の参加者が出来るものと想定しています。村には40戸を建設する予定ですので会員が400組に達する必要があります。村の建設が始まれば来訪者も増え会員も急速に増加する事になると期待しています。

「夢の村」は企画段階をやっと抜け出し、大阪での秋季例会で、皆様のお手元にパンフレットをお届け出来る事になりました。

構想の基本は『南の国の素晴らしいを集大成した桃源郷を演出する』ことにあります。

問題は生き甲斐を遊び以外に何にするかの問題でした。それはこの地にはない陶芸工房、盆栽、蘭栽培を興し、

『芸術・夢の村』として、地元社会との交流と振興を目指す事にしました。

次に価格の設定に苦しました。消費税や労務費、原材料の値上がりと為替相場です。そして奉仕の団体の清浄な目的、個人の事業利益を目的としてはならない。しかし赤字も避けなければならない、村の繁栄には余裕資金も必要である等、色々と悩みましたが結論は村が完成した時に村の建設原価を運営委員の皆様に報告して 過剰な余裕金が出たときには購入者に還元する方法を探る事にしました。

会員が力を持ち寄って手作りの「芸術 夢の村」を外国に作ることは美談になります。

平均年齢は高くてもゴルフやスキューバーやクルージングで遊ぶ、この村の姿は老人ホームではないのです。過去を語らず未来の夢を語る、そういう村づくりに全力を傾倒しています。

「お前がやらねば誰がやる」私の好きな言葉です。前人未踏の桃源郷を夢見て頑張っています。

今回の挨拶は「夢の村」関係に偏りましたが、これも皆様に素晴らしいフィリピンを認識してもらい、夢ではない現実の桃源郷で楽しい人生を過ごして戴きたいからです。お許し下さい。

是非 遊びに来て下さい。南国の花も咲き乱れてお待ちしています。

例会でお会い出来ることを楽しみにしています。

### 「夢の村」参画希望者にお願い

「夢の村」参画希望者は、是非秋季例会に出席して頂き詳細説明を行った上、希望者同志 同じ宿に宿泊し大いに語り合い、お互いの意思疎通を計る「懇談会」を開きたいと思っております。

フィリピンにて



## 「南国暮らし夢の会」第2回例会と懇親会案内

平成10年9月15日

この度「南国暮らし夢の会」の例会を開催致します。例会終了後に懇親会を催したいと存じます。万障繰り合わせの上、ご参加をお願いします。（出欠は別紙申込書にて至急連絡下さい。締切りは9月30日とします。）

\*当日は資料として本会報を持参して下さい。

### 1、例会会場

(1)日時；H10年10月25日(日)午後1時半(午後1時開場)～午後4時半まで。

(2)場所；チサンホテル新大阪 会議場に於いて (JR新大阪駅下車、徒歩で約5分)

住所；〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-2-19 ☎06-302-5571 FAX06-305-0083

(3)予定会費；¥1,000～¥1,500- (会場費及びお茶代、会場費は出席者の員数により変動します。)

\*会員外の出席希望者も歓迎しますが、上記予定会費と資料代として¥500-をプラスして頂きます。

### 2、例会予定議題

(1)開会の辞

(2)会長挨拶、役員紹介

(3)フィリピンの現況報告(第2回アンケートでの質問に対する回答含む)

(4)「夢の村」概要説明(「夢の村」関係資料は当日会場にて配布します。)

(5)会員の情報公開

(発表希望者は申込書の通信欄に記入し原稿又は発表テーマを事務局に10月10日までに事務局へ送って下さい。)

(6)その他質疑応答。

(7)閉会の辞

### 3、懇親会会場

(1)日時；4月25日(Pm 5.30.～Pm 8.00)

(2)場所；メルパルク大阪(郵便貯金会館) \*レストラン・カトレア(地下1階) ☎06-350-2111 FAX06-350-2117

住所；〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-2-1

(3)予定会費；¥6,500- (飲食費)

\*「夢の村」参画希望者分科会(懇親会終了後竹内会長を囲んで)

\*例会、懇親会の出・欠は申込書の通信欄に記入して下さい。

\*メモ、懇親会終了後の東京行ひかり号；2本、のぞみ号；2本、博多行ひかり号；1本、のぞみ号；2本あります。

\*会員外の出席希望者も歓迎します。会費は会員と同じく実費を頂きます。

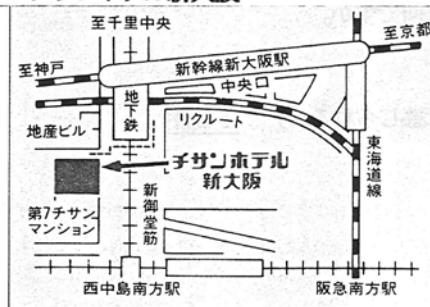
### 4、宿泊施設案内

・メルパルク大阪(郵便貯金会館) ・宿泊費；シングルA：¥6,800- ツインA：¥13,400- (2名使用)

朝食：¥900バイキング(和食・洋食) 「南の会」としてシングルA：5室、ツインA：10室を予約しております  
が先着順で締め切ります。  
以上

### ☆案内図

\*チサンホテル新大阪



所在地／〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19  
交 通／JR新大阪駅正面口から徒歩5分  
T E L／(06)302-5571・FAX (06)305-0083

\*メルパルク大阪(郵便貯金会館)



JR新大阪駅徒歩8分。地下鉄御堂筋線新大阪駅下車6分。JR大阪駅からタクシー約10分。  
大阪国際空港からタクシー約20分。大阪南港からタクシー約30分。関西国際空港からタクシー約60分。

# 『南国暮らし夢の会アンケートの集計』

摘要

平成10年 9月 1日現在

竹内 司

\*複数回答ですので回答数は件数としました。

\* [ ] 部分は次回会合の際に回答いたします。

この度は『南国暮らし夢の会』に入会（出席）して頂き有難うございました。その際、皆様に協力して頂きましたアンケートの集計が出来ました。47名の方に回答して頂き下記のように集計致しました。

今後はこの集計を参考に皆様の御希望に沿えるような計画を致したいと思っております。皆様も他の方の考え方を知る良い資料にして頂ければ幸いです。この後も出来れば新会員や本回答者にも、年1回程度アンケートに協力して頂き、皆様の意識の変化・傾向などを調査し集計していくべき貴重な資料になるものと思います。

## 1. アンケート項目

Q 1 フィリピンの生活に関する情報を何から知りましたか。

- A. ①産経新聞：12件 ②ラジオ（文化放送）：2件 ③ロングスティ財団季刊誌：15件 ④知人：7件  
⑤その他 ・渡航経験から。 ・歴史書から。 : インターネットのホームページから。 : 10件 ・読売新聞  
・日経新聞 ・朝日ジャーナル ・常陽新聞 ・文藝春秋 ・旅行してみて  
・ネグロス島バコロド市の学生に4年間、学資を支援しており、将来はロングスティしてみたいと考えていた。

Q 2 本会に入会（出席）された動機は何ですか。

- A. ①外国生活を考えている：30件 ②知人に誘われ積極的に出席：2件  
③知人に誘われ何となく出席：1件  
④今後の生活を考えると何か模索（したい。）しないと落ち着かない：3件  
⑤現在外国生活は考えていないが、勉強したい。 : 4件  
⑥その他 ・『老後をアジア・リゾートで暮らす』戸田智広著を読んで。  
・今回出席していませんがリタイヤした現在、外国生活に興味がある。  
・日本とフィリピン両方を行き来する生活（ロングスティ）が出来ないかと考えています。  
・世界各国を調査したがフィリピンは有力候補地の一つなので。  
・フィリピン人は明るい人が多く暮らしやすいと思っている。  
・日本とか外国とかを区別して余り考えたことがない。ボーダレス時代と思っている。  
・竹内司、節子ご夫妻のこの移住生活希望者に対するボランティア精神に敬服。

Q 3 本会に入会（出席）してどの様に感じましたか。

- A. ①良かった：26件 ②良くなかった：0件  
③またこの様な会が催されたら出席する：13件 ④出席しない：0件  
⑤同じ様な夢を持った友を得られ前向きになれた：4件  
⑥その他 ・今回は欠席しました。 ・大変素晴らしいです。  
・妻が長年糖尿病を中心に患っているので、現在身動き出来ない。

Q 4 本会は今後も定期的に継続して開催したいと思います。が 皆様の意向は如何ですか。

- A. ①1年に1回：12件 ②1年に2回：27件 ③必要ない：0件  
④その他 ・3ヶ月に1度の顔合わせ（ブロック毎に） ・連絡を密に願えれば幸い。  
・役員会の随意。 ・関西でも開催されればありがたいのですが。 : 2件

Q 5 外国生活を検討されているご様子ですがその理由は何ですか。

- A. (1) 日本では我々壮年が生活するには余り良い環境ではない。その理由は何ですか。  
①物価が高い：17件 ②老後は子供を頼りにしたくない：17件  
③高齢者社会が云々の社会情勢にうんざりしている：10件  
④寿命は延びているが健康的な延命ではない。（寝たさりの薬漬けに感じられる。） : 12件  
(2) 今後の生活に刺激とロマンを求める前に生きたい：24件  
(3) 外国旅行を兼ね日本円の価値を有效地に使いたい：14件  
(4) この様な計画をするのが楽しい：12件

- (5) 将来年金支給額が削減されるかもしれません : 7件  
(6) その他  
　・頂戴した参考資料を読んでいると何か血が騒ぐ。・渡り鳥的発想。  
　・日本は税金が高いので、住所を海外にし、日本には半年位住むようにしたい。

Q 6. フィリピンに興味を持たれた理由は何ですか。

- A. ①温暖な土地だから : 25件 ②物価が安い : 26件  
③年金程度でメイドなどを雇い生活出来るとの情報は魅力 : 23件 ④日本に近い : 22件  
⑤永住ビザが取得出来る : 23件  
⑥日本では高齢者は邪魔者扱いだが、フィリピンでは我々が経済の活性化に寄与出来る（対日感情も良く退職者を歓迎している） : 9件  
⑦金利の高いのが魅力。 : 9件  
⑧その他  
　・時差が1時間というのも魅力。

Q 7. フィリピンに興味はあるが不安を感じる。それはどの様な事柄ですか。

- A. ①言葉の問題 : 12件 ②治安が悪いと聞いている : 27件  
③別に不安は感じない : 6件 ④フィリピンは世間のイメージが悪い : 8件  
⑤貧富の格差に不安を感じる : 8件 ⑥医療設備が不備ではないか : 21件  
⑦その他  
　・自分の体が動かなくなった時、現地人が親身になって介護してくれるか心配。

Q 8. フィリピンに移住するとなると何年後を考えていますか。

- A. ①1年後 : 3件 ②2年後 : 5件 ③3年後 : 6件 ④体験してみてから : 15件  
⑤具体的に考えていない。 : 11件  
⑥その他  
　・5~10年後（それまではロングステイがしたい）  
　・2年後を目指しているが、妻の同意が得られるかが問題。  
　・6年後（夫が退職）  
　・定年後（5年後）  
　・4年後  
　・2~5年後  
　・4~6年後  
　・一人になってから考へるので少々具体性がない。  
　・移住は考えていないが、年に3ヶ月位は滞在したい。  
　・滞在経験を何度も重ね、納得が行けば具体化を考えたい（2~3年間）

Q 9. フィリピン以外の外国を検討されましたか。それは何処ですか。

- A. ①オーストラリア : 11件 ②カナダ : 9件 ③スペイン : 5件  
④ニュージーランド : 9件 ⑤ハワイ : 11件  
⑥その他  
　・目下検討中  
　・タイ : 3件  
　・北米  
　・フランス  
　・インドネシア  
　・米国  
　・パラグアイ  
　・ブラジル  
　・ポルトガル  
　・ギリシャ  
　・近い将来オーストラリアかニュージーランドに6ヶ月くらいロングステイの予定（冬期間）

Q10. フィリピン以外の外国を検討され、それを決め兼ねている理由は何ですか。

- A. ①永住権が取得出来ない : 16件 ②言葉が問題 : 3件  
③日本人（範人）を排斥する雰囲気がある : 9件  
④その他  
　・不可能ではないが決め兼ねている。  
　・家族の同意がない。  
　・物価が高い。  
　・まだ詳しい研究をしていないから。  
　・治安に不安あり。  
　・障害児に手がかかるのでメイドを雇いたいが、ハワイでは人件費が高すぎる。  
　・この年になって海外永住を考える場合、ロマンを求める夢を実現させる以上、①~③はすべてマイナスである。  
　・住居希望地の情報不足のため。  
　・日本から遠いため。  
　・第1希望地ニュージーランドは永住権は殆ど絶望。第2のオーストラリアは日本人会の活動性が期待外れ

Q11. フィリピンで生活を考慮されている方はどのような所を希望されますか。

（安全面は対策済みを条件として）

- A. ①閑静なリゾート地 : 27件 ②喧騒でも便利な市街地の一戸建 : 4件  
③喧騒でも便利な集合住宅（マンション方式） : 5件  
④出来れば便利で閑静な所で、尚価格にはこだわらない。 : 6件  
⑤その他  
　・閑静な郊外の1戸建て  
　・子供の学校があるので、日本人学校及びインターナショナルスクール等に通学できる場所。

・予算が限られているので現場をよく見て考える。

Q12. 住宅は1戸建、共同住宅のいずれを希望されますか。

- A. ①1戸建：27件 ②共同住宅（マンション方式）：9件  
③共同住宅（アパート方式）：3件 ④共同住宅（2軒長屋方式）：3件

Q13. 敷地面積（1区画）はどの程度を希望されますか。

（Q13～15は竹内案の日本人村構想には関係なく）

- A. ①75坪：5件 ②100坪：13件 ③150坪：10件 ④200坪：10件

⑤300坪以上：4件

⑥その他  
・現在大阪中心部より南方30kmの河内長野市にて地80坪、建30坪の家に住んでおり、環境抜群である。余り落としたくないので予算が問題。

Q14. 住宅の面積はどの程度を希望されますか。

- A. (1) 1戸建の場合。

①20坪程度（1ベッドルーム）：2件 ②30坪程度（2ベッドルーム）：17件  
③40坪程度（3ベッドルーム）：11件 ④50坪程度（3ベッドルーム）：2件  
⑤50坪以上（バス・トイレ・キッチン・ダイニング・リビング・メイド室）付：1件

(2) 共同住宅の場合。

①20坪程度（1ベッドルーム）：3件 ②30坪程度（2ベットルーム）：11件  
③40坪程度（3ベットルーム）：2件 ④50坪程度（3ベッドルーム）：1件  
⑤50坪以上（バス・トイレ・キッチン・ダイニング・リビング・メイド室）付：1件  
⑥その他  
・現地の生活様式がよくわからない。

Q15. 住宅・家具・調度品込みの一切購入資金としてどの程度ならば投資出来ますか。

- A. ①500万円：7件 ②1,000万円：13件 ③1,500万円：4件  
④2,000万円：7件 ⑤2,500万円：5件 ⑥3,000万円以上。1件  
⑦その他  
・必要であれば別に考える。  
・購入は考えていない。

・当座の預金は④位ですが、自宅を処分すれば資金は充分調達出来る。

Q16. 体験滞在について

- A. ①閑静なリゾート地でのんびりしたい。10件  
②喧騒でも便利な市街地のみで体験したい。1件  
③両者を兼ねた体験をしたい。23件  
④具体的に学校、病院、物価、日本人はどんなところに住み、どんな生活をしているか等、確かめてみたい。

Q17. 今後フィリピンに短期滞在（3週間迄はノービザで滞在出来ます。）体験の予定が有りますか。

A. ①：H10年5月中旬頃	期間21日予定	②：人数1名
H10年5月下旬頃	期間27日予定	人数1名
H10年6月6日頃	期間5日予定	人数2名
H10年8月上旬頃	期間20日予定	人数2名
H10年8月中旬頃	期間8日予定	人数2名
H10年8月中旬頃	期間3日予定	人数2名
H10年8月下旬頃	期間？日予定	人数3名
H10年9月上旬頃	期間30日予定	人数2名
H10年10月中旬頃	期間5日予定	人数1名
H10年10月？頃	期間14日予定	人数1名
H10年12月下旬頃	期間7日予定	人数5名
H11年1月中旬頃	期間10日予定	人数2名
H11年5月中旬頃	期間10日予定	人数1名
H11年4月下旬頃	期間2日予定	人数2名

未定：11件

③渡比初めて：8件 ④次で2回目：4件 ⑤3回以上：6件

⑥その他  
・予定したい：1件

Q18. もし貴方がフィリピンに住むようになったら？

- A. ①住込みのメイドを雇いたい。 : 25件
- ②老後自分に介添人が必要になると思う。 : 9件
- ③或いは思った事がある。 : 7件 ④日本からの訪問者はありますか : 14件
- ⑤その場合、訪問者の宿泊は自宅にする。 : 25件
- ⑥宿泊は別の場所に考える。(人数により) : 2件

## 2. 本会に対する皆様の御意見や提案

- (1) フィリピンに関する詳しい情報及びブロック別(関東地区など)の顔合わせミーティング等を2~3ヶ月に1度。
- A1 東京の新宿に小澤様の事務所があり、1ヶ月1回程度(8名)なら、応接室を提供して下さる事になりましたので、希望者は事務局まで連絡を下さい。
- (2) 会費は年間3,000円~5,000円は必要だと思う。次回の総会で検討してほしい。
- (3) 今と全く異なる環境のため、考えがまとまらない。一人になった時点で現場に行き、徐々に現地の状態を考え、可能性を探りたいと思っている。
- (4) 竹内会長が後進のため損得抜きで努力して下さってる姿がよくわかります。しかし、私がこれら情報を得たのも全てインターネットなのでインターネットが出来る所で生活したい。
- (5) オーストラリア、もしくはニュージーランドの方面にも手掛かりを作ってほしい。
- (6) ご自身のご満足を配分下さるご親切を心から有難く感じております。今後、会合が関西でも開かれたら有難いと思っています。
- (7) 日本人村構想は大変すばらしい事だと思いますが、管理面での問題点が出てこないでしょうか。

## 3. 本日質問出来なかつた事柄(公表しても構わない)が有りましたら。

\* [秘密厳守事項は竹内宛に直接連絡願います。]

- (1) 中・高校生をつれて移住する場合、学校を見つける方法を知りたい。
- (2) 国が違うので現在の生活レベルを考えるとメイド、ドライバー(パート方式?)は是非必要だと考えられる。それでどの位の住居がどの位の費用で用意できるのか、又、老後介添が必要な場合どうなのか、今後勉強してゆきたい。
- (3) 日本人村という呼称はやめて「夢の村」にしましょう。海外に行ってまで日本特有の没個性な団体行動方式を持ち込まれるのではないかと心配しています。
- A3. 「夢の村」に改称します。
- (5) 移住までは考えていないが、2ヶ月位の滞在を年に2回位にしたいと考えているので、出来れば共有のような形で、共有者と期間を決めて利用したい。
- (6) 指定銀行は日本もありますか?
- A6. 現在PRA指定の銀行はありませんが、協力銀行はあります。バンク・オブ・コマーズと三和銀行で日本から送金出来ます。詳細は臨時東京例会での情報公開の要旨に、明石様から指定銀行について情報公開して頂いています。

◆本アンケートと今回の名簿(住所録)は後日集計して必要な方に郵送します。(アンケートの集計には個人名は記載せず、数と追加質問などを記載します。)

◆本アンケートの集計)が①欲しい: 23件 ②不要: 3件 ③無記入: 21件

◆皆様が収集された情報で、他の人に参考になる情報がありましたら、是非紹介して下さい。

◆フィリピン滞在体験者の感想文を寄稿して頂ければ幸いです。

以上

第2回南の会アンケート集計、記録  
藤本 理恵

## 「南国暮らし夢の会」臨時東京例会での情報公開の要旨

\*日時；H10. 6. 20 (土) 12.30~15.50、

\*会場；メルパルク東京（郵便貯金会館）1F レストラン「フォンテン・ド・芝」

\*出席者；片山様、加藤鉄也様、岩崎様、明石様、森様、小澤様、田中様、三好様、橋本郁夫様、加藤陸男様、大隅様、足立様、竹内会長、竹内節子様、長谷川（幹事、広報担当）様、酒匂、以上16名

### 1、会員からの情報公開の要旨

(1) 小澤様 (57才) ; 諸外国を歩いてみてフィリピンの位置は？

- ・毎年花粉（花粉症のため）の時季に2~3ヶ月各国（フィリピン、ニュージーランド、ブラジル、パラグアイ、タイ、ギリシャ、ポルトガル等）にロングステイを繰り返している。
- ・体験した所ではニュージーランドのクライストチャーチが素晴らしいと思うが何分遠い、次がフィリピンのバギオ（数回体験）が近くて、自分では良いと思うがフィリピンに長期滞在していると、日本での評判が良くないのが問題である。
- ・今のところ定住の気持ちはなく、ロングステイを繰り返し調査を重ね将来に備えたい。
- ・フィリピンのバギオでは貸家（キッチン、バス、トイレ付き）を1ヶ月単位で借用している。バギオは気候も良く朝夕にゴルフ三昧の生活をしている。勿論花粉症の症状は出ない。
- ・ビザについて、最初は日本で大使館に出向き長期ビザ（59日）を取得したが、2回目はフィリピンで旅行社に依頼し滞在ビザの延長（59日）を行った。

(2) 明石様 (61才) ; なぜフィリピンのPRAメンバーになったか？

- ・ロングステイガイドで「南国のパラダイスは年金生活者にも天国」という小松崎憲子さんの記事を読み、70才の高齢の日本女性が一人で生活されている。そのようなフィリピンならば自分でも出来るだろうと、フィリピンで滞在調査して確かに治安も悪くないし、将来永住しても良いと思い退職者永住ビザを取得した。
- ・PRAメンバーについてのQ&A（南の会の情報では不足の事項を会員から質問を受け）

Q1. 指定銀行（下記5行）

- A1. ①バンクオブコマース（三和銀行と提携があり日本から送金出来る）  
②ソリッドバンク・コーポレーション、  
③エクイタブル・キャッシング・コーポレーション、  
④チャイナトラスト（フィリピンズ）・コマーシャル・バンクコーポレーション、  
⑤チャイナトラスト（タイペイ）・コマーシャル・バンクコーポレーション、

Q2. 上記銀行に預金した預金額は家族単位又は各人ですか。

A2. ①預金額は家族単位（配偶者、未婚の21才未満の子供1名）で3名。

②配偶者が加入しない場合は未婚の21才未満の子供2名で、3名以上は追加預金15,000米ドルが必要。

③子供が21才以上になっても権利は保有する。

④身障者と年齢の関係は分かりませんが、21才未満に取得すれば③項に準じて良い筈。

\*参考、親の場合は同居扶養家族でも別の家族と見なされ、別途に規定の預金50,000米ドルが必要。

Q3. 預金の用途について。

A3. 半年後に使える。会社設立資金、土地借用、マンション購入、ゴルフ会員権、但し株式投資は不可。  
ということで外国には持ち出せない。しかし永住ビザを返納すれば預金の解約は出来る。

\*参考、ペソ預金金利；98年1月は2.2%と高利であった。（金利の税金は20%）

\*参考、マニラ市街に出掛ける時は、晴れがましい服装はスリムに狙われるのでない事。（事例説明ある）

(3) 田中様 (69才) ; 日本での闘病（リウマチ）生活と外国（暖かい国）での闘病生活

- 夫の仕事の関係で外国滞在生活が多かった。どの国で暮らしても自分が謙虚な態度で付き合えば、どこの人も人情味のある人々が殆どで、外国暮らしに違和感はない。特に西サモアでの滞在生活は印象深く著書まで出版した。
- 日本は良い所だが自分は持病にリウマチがあるので寒さに閉口している。暖かい国で生活したいと考えている。今日（6月20日）は気温が高いので大丈夫だが杖は放せない。昨日は肌寒く具合が悪かった。
- フィリピンは行った事はないが、暖かいので魅力を感じ期待しているが兎に角滞在体験してからにしたい。

(4) 岩崎様（46才）；諸外国を歩いて、今はフィリピンで暮らそうとこの6年歩き回っている

- 若い頃フィリピン旅行をした事がある、その際マニラ空港に降り立った時何となく自分の肌に合う気がした。
- 職業はビデオカメラマンで、世界各地を歩いているがここ数年はフィリピン生活を考慮して、フィリピンの各地を歩き回っている。現在子供が中学生なので直ぐには行けないが、自分は直ぐにでも行きたい。
- フィリピンには日本人が多く滞在しようと試みているが、どうも血液型が左右するようだ。自分のデーターではA型の人は殆どフィリピンに居着けず落伍されている。B型が最適でついでO型の方がマッチしているようである。
- フィリピン系の銀行が日本で営業しているのは、2行あり自分はその内のメトロバンク（☎ 03-3237-1403）を利用している。ペソで預金し預金利もフィリピンと同等である。銀行の世界ランクはB bランク（フィリピンではAランク）である。金のある方はフィリピンの銀行に預金すると、利息分でフィリピン滞在は出来る。なお銀行の選定は自己責任で選定して欲しい。
- PRAの指定銀行は日本では営業していない。が 提携銀行は明石氏の話のごとくである。

(6) 長谷川様（59才）；フィリピンでの友達付き合い

- 街の両替所での注意事項、彼等はわざと小額紙幣を用い、分厚くしていざ手渡す時には半分程度を胡麻化して手渡されるので要注意のこと。両替は銀行などのちゃんとした所で行った方がよい。
- フィリピン人と仲良くなり、彼等の家に招かれ何か飲むかと問われるその際「ビール」と返すと、では金を出してくれとなり、その金で酒・肴を買ってきて、家族や彼等の仲間と酒宴になる。これがフィリピン人の文化と言うか、金のある者は無い者に施すのが当然という考え方がある。その様なおおらかな気持ちで生活すれば現地人との付き合いも楽しい。

## 2、フィリピンについて、竹内会長

(1) フィリピンの一般的な事柄の説明

- フィリピンの生活は“メイドに始まりメイドに終わる”という諺のような話が現在の日本人がフィリピンで暮すのに問題化されています。しかし我々日本人が年金程度の生活費でメイドや庭師を雇う生活が出来、そのメイドを使いこなすのが唯一の悩みとは、考えてみるとこれは本当に贅沢な話です。
- 特に日本の女性は、人を使うことに関しては今まで余り訓練されていないため得手ではない。

フィリピンは産業の後進国で、外国人の滞在を優遇し余剰の人材を雇用してもらう事が、フィリピンに貢献する事になるので、お互いに奢らずに彼（女）等の人権を認（自尊心は高いので人前では絶対怒らないこと）めながら生活すればそれ程問題はない。なおメイドなどの解雇、雇用は簡単に出来る、なお日本人はフィリピン人に尊敬されている。

育った生活環境が異なるので当初は面食らう事がありますが、そこはジックリ教え込むと何とか収まります。

(2) 「夢の村」（「日本人村」の呼称を「夢の村」に変更し、外国人も受け入れる。）について

現在計画中の「夢の村」は土地、建物、永住権の3点セットで、¥880万円（30坪）～¥1,250万円（40坪）の3種類の住宅を検討中で、この内から参加者を募集します。

- 土地は土地保有会社の所有とし、保有会社と日本人村民との間で土地賃貸契約を結びます。
- 外国人は土地の購入が出来ない、法人組織だと購入出来る。が 持ち株は比国人60%、日本人40%となっている。しかし出資金は全額日本人が出するために、信用出来る比国人の名義を借りる事になります。勿論トラブル対策はします。
- 「夢の村」の村民審査；本「夢の村」は桃源郷を目指していますので、円満な人間関係を基本として、入居者は「審査委員会」で審査の上 入居資格者を決定します。

\*土地保有会社と個人が借地契約を結び本「夢の村」の権利を得られます。

・持ち家の法的保護、比国では家の権利書制度が無いので、固定資産税の納税証明書が証拠書類になります。これを大切に保管し続けて下さい。

=「夢の村」の家の所有権について、所有権は1世代限りとし、途中退村者の所有権譲渡は本会規定計算方式により管理組合で買取ります。個人売却は認めません。所有権を相続したい場合は再契約になります。

\*抹消部分は4月25日例会の時点では上記の案でしたが、上記案では日本の会員には馴染まないので、建物は個人所有の物件とします。

・「夢の村」を推進している目的は、外国で生活をするには、言葉や生活習慣が完全に異なるので、2~3年で落伍する人が出ます。その対策は近くに話し相手が居て、お互いに助け合える関係が必要です。

・日本の住まいは3年間は売却しないで、そのような時の拠り所を確保しておく事を勧めます。

・ヘルパー（この「夢の村」ではメイドではなくヘルパーと呼ぶようにします。）は看護学校出（准看護婦）の、介護や下働きの出来る人を雇用し、日本語や日本食などをマスターして貰い、本「夢の村」を人材養成機関として比国及び地域社会に貢献したい。

・「夢の村」の案を秋の例会までに固め提示します。秋の例会で概要説明後、詳細については希望者を募り説明会を開きます。申込はその後にし10名程度から「夢の村」の建設はスタートする予定です。

### 3、質疑応答

Q1. [竹内夫人に] 妻帯者の会員は配偶者の説得が第一の問題です。女性の立場でフィリピンに住んで良かったと思われた事柄を少しお聞かせて下さい。

A1. 日本と比較すると友達など殆どないので、寂しい事や不便な事、メイドとのやり取り等は少し問題はあります。

・女性は男性と違い、日本の地域社会に完全に根を下ろして居るために、なかなかその環境から脱出する事は出来ません。外国で生活するとなると抵抗があるのが当然でしょう。

・私の場合も抵抗はありましたが、渋々夫に付いて行き日本と比国を行き来する内に、将来の事を思うと比国の方が老後の生活には合っているような気がしてきています。比国での生活が我慢出来ないという事はなく、今では何とか快適な生活をおくっています。

これは人夫々の考え方で、日本の現状は子供が少ない上、核家族化しているために、老後はどうしても老人ホームや病院というコースにならざるを得ません。このような日本の現状を観察していると、比国の年上を敬う気持ちを持った人々に、面倒をみてもらう方が良いような気がします。

・今の自分の気持ちは、元気な内に出来るだけ勉強しその時になって慌てないようにこの国に馴染みたい、そのための投資のつもりです。

この問題はその内に答えは出ると思いますが、男の方は当分別居生活しても良いという気概でフィリピンで生活し、女の方が成程この国の方が生活仕易という気になるような生活を実践し、女性に認めてもらうよう仕向ける以外対策はないでしょう。

\*竹内夫人のこの様な意向を出来たら文章にして女性陣に配って欲しい、という発言もありました。

Q2. フィリピン旅行時のノービザ滞在は21日ですがロングステイしたい場合のビザ取得について

A2. 滞在が21日を越える場合は、日本のフィリピン大使館でビザを取得するか、フィリピンに入国してから信用出来る旅行代理店に依頼すると、原則59日間ですが、場合によっては半年間ぐらいまで延長可能です。

この会話の中で竹内会長の発言に、PRAメンバーにならずとも、この方式で延長すれば良いように受け取れる発言がありましたが、これはたまにという事で、フィリピンに永住（毎年長期滞在生活を考えている方等）する人は退職者永住ビザを取得し、フィリピンの法に従い、不安なく滞在生活される事をお勧めします。

万一不法滞在で入国禁止になったら、折角購入した不動産などが無駄になる事も考えられますので、自己責任で充分検討して下さい。

\*この他の質問は上記の諸事項に関する事柄でした。

以上

=10.6.30 10.9.12 校正；西田、酒匂 記

美しさと喧嘩のなかにフィリピンの活気を見た！  
—プエルトアズール体験旅行記—

山のように積み上げられた果物と野菜、生きのいいカニやエビ、わたしの好きなものばかりだ。しかも日本での価格と較べると目茶苦茶に安い。元気のいいおじちゃんが何かさかんに言っているがさっぱり分からぬ。でもその場の雰囲気から“新しくて安くて美味しいよ”と言っているのだろうと見当をつける。つい大好きな果物の一つであるマンゴスチンに手が伸びる。わたしの住む福岡ではマンゴスチンはあまり売っていないが、その美味しさはマンゴーやドリアンに決してひけをとらないと思っている。売り手のおじちゃんの二の腕に入れ墨がのぞく。指さして“かっこいいな”と日本語で言ったらもう一方の腕を“こっちはどうだ”と言わんばかりに得意げにさしだす。一緒に働いている奥さんに似た美人画が彫ってある。“おおグッド”と言うと今度は“おしりにももっと素晴らしいドライゴンの入れ墨があるぞ”とほんとに昼日中の大衆の前で半ズボンを脱ぎそうになる。わたしは慌てて“ノウノウ”といいながら勘弁してもらう。まったく陽気な人達だ。

竹内邸の夢のような美しさと対照的な、近くのナイクという町の市場でのひとこまだ。この陽気さと大衆の活気がわたしは大好きだ。だから今回の竹内さんの「南の会」の発足を知りて早速入会しプエルトアズール体験旅行に行って来た。金はないが時間だけは十分にあるリタイヤー組の特権だ。

高齢化社会を迎えて日本でのとしよりを取り巻く環境はきわめて厳しく暗い。戦中戦後の物のない時代を体験し豊かな日本を目指してがむしゃらに働いて来た私たちに、つかの間の安らぎと少しのぜいたくさを享受することすら拒否する日本という国は一体なんという国だろう。こんな国にはこちらから愛想尽かしをして年金で豊かに暮らせる国にどんどん出て行こう。

交通網の発達で世界はほんとに狭くなった。日本から4時間前後で行けるフィリピンはその点理想的だ。用事があればちょっと帰ればいい。時にはよべばいい。そういう意味からも「南国暮らし夢の会」が夢に終わらず実現に向かって進んで行くことを願っている。できれば家を購入する資金が足りない人のために長期滞在型の家や部屋を作っていただけるとありがたいと思っている。そこで自分の特技を生かして地域の人にも喜んでもらえるような生活ができればいいなと思っている。夢の実現にむけて一緒にがんばりましょう。

「南の会」会員

竹村 賀俊

## よたび 四度のフィリピン

平成10年8月10日

会員 鈴木 英吉

### § 第1回（大東亜戦争中フィリピンで米軍と戦う）

昭和19年（1944年）3月教育招集の令状を受け、満洲新京で無線通信の教育を修了、すぐ選抜され南方行きとなる、延吉・釜山・下関・門司より輸送船で9月初め出港、10月1日北サンフェルナンドに上陸、マッキンレーでレイテ島行きの教育を受けたが、出発直前に戦況が厳しくなり中止、その後南部ルソンの兵团司令部の通信隊のオペレーターとして従軍、マルプニエ山の陣地は昭和20年4月29日に陥落、米軍の包囲の中を7日間かかってフィリピン第1の山バナハオ山に集結した。

そこで通信隊の自分達は無線で終戦の知らせをキャッチしたが、兵团長は終戦について受信した者3名に一切口外禁止令を出し、口外した者は死刑に処するとの厳命を受ける。そういううちに10月中旬になり、山下将軍の軍使がバナハオ山を訪ねて来てやっと投降する。

カンルバンの収容所に入り皆バラバラになる。数日して米軍の日系二世の尋問があり氏名、階級、所属部隊、場所、期間と簡単なものであった。しかしそれがそれから2年間私が収容される原因になったのである。その訳はスズキと言う名前で、戦犯容疑者にスズキが多く一時は鈴木姓のみで300名以上集められた。その他にサトウ、サイトウ、イトウ、タナカなども同じケース、裁判で容疑が晴れた順に帰された。

22年10月15日にマニラ港より他の15名の友と米国客船アドミラルスマス号（2万屯）で横浜港に着き、19日父母兄弟の待つ品川の家に復員する事が出来た。この時の感激は生涯忘れられない。

### § 第2回（フィリピン政府主催の日比平和の集いに日本代表として参加）

昭和52年（1977年）1月、フィリピン政府主催の日比平和の集い「レプロセン推進協会」の招待（50名程のメンバーの中に歌手の渡辺はま子さんも同行）を頂き、カラリヤ、ロスパニオス、モンテンルパ、マッキンレー等日米比戦死者の慰靈が目的の旅だった。

初日はマラカニアン宮殿に招かれ、マルコス大統領夫妻も同席の歓迎の夕べが行われた。

### § 第3回（戦友と慰靈の旅に）

昭和52年（1977年）12月、カンルバンの収容所に長く生活を共にした友人と、前回と同じ様なコースで慰靈の旅となった。

特にモンテンルパでは、多くの罪のない（戦争で死ぬのは軍人の誉れだが、汚名を着せられての処刑はさぞ残念であったろう。）戦友達が戦犯者として政争の犠牲者となり処刑された。

いたましい友を偲び「モンテンルパの夜は更けて」（過日「渡辺はま子」さんはこの歌をもって、日本人戦犯者に対するフィリピン政府の処遇に対し抗議しフィリピン政府に、日本人戦犯

容疑者の釈放を訴えてくれた。) を全員涙を流しながら、自分達の気持ちを熱唱し靈を慰めた。

#### § 第4回 (かつての戦の庭に余生を過ごす場を求めて)

- 平成10年(1998年)6月 前回より21年目、今回は以前とは異なる前向きな気持ちでのフィリピンの旅だった。今年4月「南国暮らし夢の会」の例会に出席し、大変興味を覚え6月6日に息子及び同行の石山夫人、高橋夫人の4人で成田空港のJAL受付けで初めてお会いし、5日間の旅が始まった。

マニラ空港は大分古くなった感じがした。竹内氏の指示通りにニッサンタクシーの受付けで、竹内氏よりの葉書を見せてプエルトアズール迄のチケットを買う。タクシーで西へ走る事2時間(途中渋滞が続き)。マニラよりの高速道路工事が進んでいる様子であった。

竹内邸に4時20分に到着、シャワーを浴び、奥さんの案内ですぐ前のゴルフ場とその先の海辺に出て、マニラ湾の夕日を52年ぶりに拝む事が出来、カンルバン収容所で見た夕日を思い出し感無量だった。

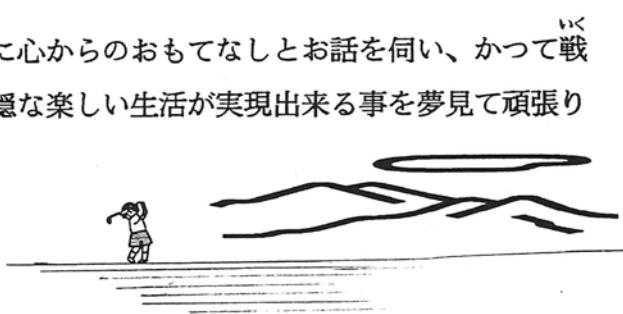
夕食後は竹内氏の運転で近くのノボテル・ホテルの民族舞踊のショー(毎土曜日開催)見物に出掛け南国での1日が無事過ぎた。

- 7日、ゆっくり起床し朝食後近くの市場に買い物体験に行く。一昔前の日本の市場を思い出させる光景である。

メイドさんの日曜日は休日で、教会に行き午後は夕方に帰るのに、今日は我々が来ているので早く帰って来てくれたとの事。3人のメイドさんの心の優しさに心をうたれた!!!  
日本の若い人達がいつの間にか忘れてしまった、人の情がフィリピンにはまだあるのだと思った。(やがてフィリピンも豊かになった時は解らないが。)

- 8日にはマニラのランドマーク・デパートで土産を買い、夕食は途中のマラバンのレストランでフィリピン料理を賞味した。何とか食べられる。
- 9日は、プエルトアズールのリゾート施設を見学し、夕方岬に行き1時間ほど夕日や夕焼け雲をカメラに収め満喫して帰る。
- 10日 紛失の日、竹内氏の友人で本会会員の塩見氏の車で空港まで送ってもらう事になり、途中エリジム(The Elysium)の小松崎邸に立寄り、30分程度姪のヘレンさんに案内して頂き、その後塩見邸(会員のマニラ市内での体験滞在所として希望者は利用中。)にもお寄りして無事空港に到着した。

今回の旅ではフィリピン在住の日本人の方々に心からのおもてなしとお話を伺い、かつて戦  
ぎの地であったフィリピンで、近き日に今度は平穏な楽しい生活が実現出来る事を夢見て頑張りたいと思う。



## 「南国暮らし夢の会」に希望を託して

平成10年8月9日

会員 H. A

私の家族は、77才になる母と1人では食事も着替えもトイレも出来ない重度の障害をもつ娘と、小学生の息子の4人暮らしだす。

母が家事をして私が仕事をもって何とか今までやってきました。でもこの先 母が病気になって寝たきりになって……など考えたり、また新聞などで、看病疲れで年老いた親や障害者の我が子を殺してしまったとか、そうした悲劇の記事を目にするたびに、他人事とは思えず、近い将来の自分の姿の様で、たまならい気持ちになってしまいます。

しかし ふと手にした本の中で、フィリピンのPRAのことを知りました。高齢者でも障害者でも永住ビザが取得出来、1ヶ月1万円程度でメイドさんが家事をしてくれる。

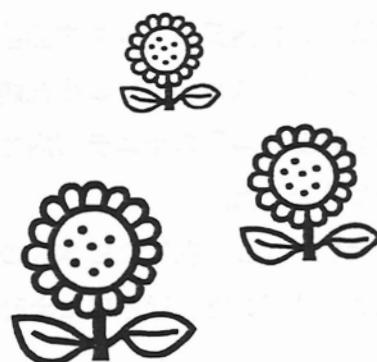
「ああ これだ！！」と思いました。

今の日本では 高齢者や障害者がいる家庭にとって、介護を自宅で家族以外の人にしてもらう事は、現実には難しい事です。 ホームヘルパー等の福祉サービスもありますが、いろいろな条件や制限があるし、自費で家政婦さんにお願いするとなると、よほど経済的に恵まれていないと無理です。でも、フィリピンで暮らせば、これから先、たとえ娘が全く歩けないような状態になっても、メイドさんに手伝ってもらいながら生活出来ると思うと、今まで憂鬱だった気持ちから、希望に満ちた気持ちに変っていました。

もっとフィリピンの事が知りたいと思い、本当に重度の障害者でも退職者ビザが発行されるのだろうかと、いろいろなところに問い合わせたり、フィリピンに関する本を片っ端から探したりしました。そんな時に「南の会」を知りました。入会したいと電話をしたところ、さっそく資料を送って下さいました。その中には、私の知りたいことが沢山書いてありました。

私の仕事と息子の学校の事などがあり、今すぐフィリピンで暮らす訳にはいきませんが、夢が現実になるように

「南国暮らし夢の会」に希望を託しています。



## セブ島に魅せられ

平成10年8月31日

会員 小竹 弘昭・まち子

白い砂と鮮やかな青い海のコントラストが印象的なセブは、ホテルのビーチで寝転んだ時の空の高さに開放感を感じました。（海のない埼玉県で育った私達には言葉には言い表せない感動があります。）

しかしホテルエリアのゲートを1歩出ると貧困のフィリピンがそこにはあるのです。初めてセブ島へ行った時、写真で見たあのフィリピンの家並がそこに在り、車の中から垣間見られるゴミの山をあさっている人々を見た時の驚き、対照的にホテルやスーパーマーケットは比較出来ない豪華さ、自分達はこのギャップに本当に驚きました。

でも物価の安さとフィリピン人のフレンドリーっぽさ、それにタクシードライバーの自宅に招待され歓迎を受けたことなどが印象的だった為、それから数回セブを訪れる事になりました。

『フィリピン人は明るく、人なつこく、穏やかで愛想がよい。そして他人への思いやりがすごくあります。初対面の人にでも直ぐにうちとけ、恩に感じればちゃんと尽くしてくれる。なお年上の人を敬いファミリーを大切にし、日本人が忘れ去ろうとしている義理人情とモラルをちゃんと持っていると思います。それはフィリピン人の国民性と良く言われていますが、私もその様に感じています。』

私達家族はまだ若いので短期間の旅になりますが、フィリピンは旅行者として気を遣わず過ごせるという事は、気分転換に最高のような気がします。

海や空の青さと、太陽の焼けるような暑さ、トライシクルに乗って近くのスーパーマーケットまで買い物に行ったり、地元の人達が行くレストランでフィリピン価格で食べて……何とも言えない開放的な気分に浸れます。

セブ本島の僻地へ行くと、抜ける様に美しい海がある所（ホテルはない）に日本の方が住んで居られダイビングを教えている方の本を読みました。その内きっと時間をつくり行ってみたいと思っています。またセブ島には環境の素晴らしい場所に、日本人向けのリゾート型終身介護ホーム「あんしんの郷」という施設があります。若し機会があったら会員の皆さん方も見学されると良いと思います。

いざセブについて書こうと思うと何を書いて良いやら、セブのどこが良いのか改めて考えましたが、特筆する事が無いのが良いのか、兎に角《白い砂浜、海、空》ですか？？

私達にはセブ島が肌にあうようで、親しみの持てるフィリピン人との交流が出来る、安全で安く日本から近く、短期間でも十分楽しめて落ち着ける場所です。この夏もセブ島を訪れ（4度目）益々ハマり込むような気がしています。

家族旅行はこの後も当分フィリピンのセブ島が定番になりそうです。

写真1；マクタン島「プランテーション・ベイ」

ホテルのプールにて。

写真2；マクタン島、近くの島 白い砂浜の浜辺にて。（タクシードライバーの子供たちと我が家の子供たち）



## 南国の夢が現実になるとき

平成10年8月22日

広報担当幹事 長谷川 登志郎

ラ・ニーニャ現象の影響とかで、雨の心配をしているうちに、今年の夏は終わったようです。私ども壮年有志のほうは天候不順などに負けてはおられません。

青い入り江の竹内さんを慕って集った有志は、何時の間にか百名余までに成長しているゆえ、日本壮年発の高気圧となって、何かと元気のない平成不景気に活を入れて欲しいと願いながら、南国での珍事について、二・三物申すということで如何でしょうか。

常夏の国フィリピンは、真赤なブーゲンビリアの咲き乱れた恋の地でもあります。空港から各々の町に出て出合う路往く人、ショッピングセンターの売り子嬢、どこを向いてもオープンであり、耳障りなほどに流すバックグランドミュージックに動きを合わせ、目と目が合うと軽くウインクされても、われらが堅物の壮年男子といえども、つい恋の気分にさせられてしまう。

そこで問題になるのが恋の後始末です。一夜かぎりの沙汰であっても、不自然な程に年齢差がある場合は、仮に告訴された場合とんでもない経費と労力を必要とされるだろうし、更にすんで子供が出来てしまった場合、もっと困難な複数の恋人と関係をもってしまった場合、日本国内とは異なった大変な事態に陥る事が予想されます。

大抵の場合は恋は夏の夢のごとく、甘い想い出で終る訳で、事件だ告訴だと物騒な話題を取り上げたくないのですが、万が一、いや最近の情報では百に一つ程の割合で、争いの原因になっているそうですから他人事で済ますわけにはいきません。

◆その解決は・・・・

フィリピン特有の開放感に満ちた地に降り立った瞬間から、道理をわきまえている筈の我らが壮年男子といえど、軽はずみの浮ついた行動に走り易い故に、まずは一呼吸おいてから人生の熟練者らしい次の行動を決めていくことだと思います。

具体的には、楽しみつつも相手を深く観察し危険な関係をもたない事に尽きます。

即物的な男女関係のみに快楽を見いだすものではなく、食事、服装、家族関係、建築物、歴史、言葉とその文化に触れていくことも、奥の深い清々しい快い感動であり、そしてそこから生まれる本物の恋ならば下卑な告訴だ、事件だという方向には発展しない筈です。

フィリピンでの短期、長期滞在、更にはリタイヤビザでの永住と、私も真剣に皆さんと共に経験し知恵を出し合って、よりよいシニアライフの完成を目指したいと思います。

もし、皆さんの中で、思わぬトラブルに巻き込まれた場合は、私の知り得たフィリピンの友人では最高に力のある、マラカニアンの政府要人に解決をお願い出来る事を一言申し添えます。

自称フィリピン通より

## フィリピン最新事情

1998年6月18日

リサール商業銀行

### 1. 政治・社会

#### ① 大統領選挙実施 ('98年5月11日)と新政権の誕生 ('98年7月1日)

○マルコス政権崩壊以降 3度目 民主主義が定着

・'86年アキノ政権 '92年ラモス政権

・アキノ政権時には、軍事クーデターも発生したが、ラモス政権以降

経済成長(年平均5%超)もあり安定

・今回選挙は從前の予想以上に平穏に行われ、野党エストラーダ氏が

約40%の票を獲得し当選

・ラモス大統領をアドバイザーに指名。与党とも協調合意

○エストラーダ新政権誕生

・政権運営の基本方針「10ポイント・アジェンダ」を発表(5月15日)

前政権からの経済自由化の継続及び貧困者対策=農業開発の重視が柱

・組閣は順調に行われ、新閣僚の評価は全体として良好

・外相 シサンン 中銀總裁 シンソン留任 又新任についても経済界及び

大学教授等プロ人材の登用が多く、手堅い布陣と評価

(全閣僚21名中留任3名)

○独立百周年記念事業スタート ('98年6月12日)

・1898年 300年を超えるスペインよりの支配から独立

・クラーク元空軍基地の再開発を兼ね同地をメイン会場

として開催(約1年間)

○政治・社会の安定、及び経済効果を期待

### 2. 経済

#### ① 昨年はアジア通貨危機にもかかわらず、マクロ面では比較的順調に発展継続

○'97年実績

・GNP 5.8% GDP 5.1% インフレ5.1%

・貿易収支▲111.3億ドル(輸出252.3輸入363.6)は前年

のみ。輸出入とも拡大。但し総合収支はホットマネーの流出あり

4年ぶりにマイナス

・海外労働者による本国外送金57億ドルが景気の下支えになった。

○'98年に入り足許の景気は低下傾向

・GNP3% インフレ7.5~8.5%

・政治的不確実性による輸出減と内需減による景気弱化

・昨年來の高金利及びペソ安による販売価格の上昇が主因

・輸出減による輸入競争による輸入増加

・輸入競争による輸出減による輸入増加

○'98年第一四半期 GNP 2.5%(昨年同期5.4%)

GDP 1.7%(同5.5%)と低下

・インフレ 7.0%(同4.7%)

・GDPの規模('97年)2兆4,200億ペソ(8兆5千億円)

○工業生産指数(16業種) - (量ベース)

98年1月 前月比 ▲12.7%

2月 ▲ 7.7%

	(低下)	(増加)
・輸送機器	▲31.1%	・木材・木工品 54.4%
・繊維	▲21.2%	・電気製品 13.9%
・製油	▲20.9%	・コム製品 7.9%
・食品	▲18.8%	

・数量ベースでは 1月、2月と低下傾向

・金額ベースでは +35.7%と減産を価格調整で埋め合わせ

○農産物生産指数

・GNPの25%を占める農業生産指数はエルニーニョの影響あり

1～3月前年比▲3.16%と悪化

<自動車販売の状況>

・乗用車 1月～5月 前年比 ▲49.5% 5月単月 ▲55.3%

悪化傾向

○1～5月 合計数 同年同期比 シェア

	合計数	同年同期比	シェア
ホンダ	4,389	▲33.6%	26%
トヨタ	4,239	▲32.4%	25%
三菱	2,609	▲57.2%	15%
日産	2,140	▲53.1%	12%
その他合計	17,111	▲49.5%	100%

・商用車 1月～5月 前年比▲38.1%と乗用車同様に悪化傾向

・昨年來の高金利及びペソ安による販売価格の上昇が主因

### 3. 貿易・投資

#### ① 貿易

・'97年 輸出は前年比+23% 輸入+14% 増加し順調に推移

・'98年第一四半期については輸出は引き続き順調に増加。

・輸入は前年比マイナスとなり貿易収支は大幅に改善

	'98/1～3月	前年比	'98年3月	单月前年比
輸出	6,816	23.8%	2,474	23.6%
輸入	8,038	▲4.3%	2,614	▲10.9%
貿易收支	▲1,221	▲57.8%	▲140	▲85.0%

〈輸出の内訳〉3月の単月実績

	'98/3	前年比	'98/3	前年比
電子製品	1,283	48.3%	525	17.1%
衣料	196	1.6%	272	▲1.2%
周辺機器	150	19.0%	214	▲14.7%
ココナツツ	42	23.5%	189	▲37.5%
他	802		1,414	

・HDD・半導体を中心に日米メーカーによる電子製品の輸出が好調

・経済区(PEZA)内企業(日系企業が70%)による輸出が好調  
 1～3月 30億ドル 前年比 +42.2%  
 民間工業団地 19.3億ドル 前年比 +91.1%～日系企業が多い  
 国営工業団地 10.7億ドル 前年比 ▲3.2%

## ②投資 ー BOI報告

・'98年通年目標 5,525億ペソ(約130億ドル)  
 1～5月の総投資額 1,350.5億ペソ 前年比 ▲24.6%  
 " の海外からの投資 259.9億ペソ 前年比 +43.4%

・米国、香港、華人系の投資が活発

日系企業進出状況 一マニラ商工会議所			
製造業	97/3	98/3	98/4～5
内 電子・電気	23	28	10
内 自動車	17	13	6
内 その他	3	8	2
エンジニアリング・ソフト	3	7	2
運 輸	10	6	0
駐在員事務所	8	5	0
そ の 他	28	18	4
計	13	23	1
累 計	82	80	15
	369	434	449

・上記の他、セブ商工会議所に93社が加盟している

## ○特色

・'98年末現在 法人会員数434社中 製造業 202社(46.5%)  
 ・'98年に入つても製造業の進出は続いている  
 ・英語を話す「教育水準が高い」「技術系大学卒業生が多い」との理由から近時エンジニアリング、ソフト会社の進出が目立っている。

## 4. 財政・金融

○財政 '98年度通年目標

歳入	5,313億ペソ
歳出	5,263億ペソ

+ 50億ペソ の黒字予算

・1～5月 営業実績 1,874億ペソ ▲154億ペソの赤字となっている

企業法人税の税収減が原因

### ○ 金融

・通貨危機以降ペソ建貸出金利が急上昇 約6ヶ月にわたり30%を超える金利となつた。  
 ・但し、98年に入り、金利は低下傾向となり足許金利は20%を切る水準となつている。

一通貨危機前 T-BILL 11% 賃出金利 13%～15%程度  
 現状 T-BILL 13.88% 賃出 17～20%

・銀行の延滞債権増加中

97/末 4.7% 98/2末 6.7%

中銀は本年末には8%台になるが、管理可能範囲内と説明している。  
 ・銀行の最低資本金増額改定の計画もあり、金融再編も視野に入っている。

## 5.まとめ

① アジア通貨危機の影響は、7月にも波及しているが、他の東南アジアの諸国に比較し、現状軽微。但し、昨年来の金利高は確実に企業体力の低下をもたらしており、今後の懸念材料。

② 政治的には、エストラーダ新大統領の誕生、政権の移行も比較的スムーズに行われた。但し、各省の長官を始め高級官僚の多くが交替しており、特に経済政策、運営については、今後、注意深く見ていかなければならぬ。  
 ③ 経済はエレクトロニクス関連を中心に輸出は好調に推移しているが、国内景気は、足許悪化している。

④ フィリピン経済を新たな成長軌道に乗せる為には内外資本による投資、輸出の増強が必要であり、新政権のもと投資優遇措置の追加策及び、外国人による土地保有制限の撤廃、小売業の外資への開放等、規制緩和が検討されている。

⑤ '96年11月から始まったAICO(アセアン工業協力計画)適用申請に日系企業数社が参加していたが、今般、始めてトヨタ100%出資のトヨオートバージ社が承認された。今後、アセアン各との協調した発展ニーズ及び日系企業の域内分業の推進を目標とした動きが活発化するものと思われる。

以上

<参考資料>

図3. 97年7月以降の日本・東アジア通貨の対米ドルレートの変化率  
及び33%、55%切り下げライン( IMF方式)  
(1997年6月値比率)

	90	91	92	93	94	95	96	97
GDP実質成長率(%)	4.0	0.5	1.6	2.1	5.3	5.0	6.9	5.8
消費者物価上昇率(%)	14.2	18.7	8.9	7.6	9.0	8.1	8.4	5.1
貿易収支(億ドル)	-40.2	-32.1	-46.9	-62.2	-78.5	-89.4	-113.5	-111.3
輸出	81.9	88.4	98.2	113.8	134.8	174.5	205.4	252.3
輸入	122.1	120.5	145.2	176.0	213.3	263.9	318.9	363.6
经常収支(億ドル)	-25.7	-8.7	-8.6	-30.2	-29.5	-32.9	-39.5	-43.0
対GNP比(%)	-5.8	-1.9	-1.6	-5.5	-4.5	-4.3	-4.5	-4.9
総合収支(億ドル)	-0.9	21.0	14.9	-1.7	18.0	6.3	41.1	-33.6
対外債務残高(億ドル)	285.5	299.6	309.3	342.8	370.8	377.8	418.8	454.3
DSR(%)	27.2	19.6	17.0	17.1	17.4	15.8	12.7	11.3
外貨準備高(億ドル)	19.9	44.7	52.2	58.0	69.9	76.3	116.2	86.5
為替レート(対米ドル)	24.3	27.5	25.5	27.2	26.4	25.7	26.2	29.5
人口(百万人)	62	64	65	67	69	70	72	74
一人当たりGDP(米ドル)	710	717	825	826	958	1084	1211	1184

(出典: 中央銀行経済調査局資料)

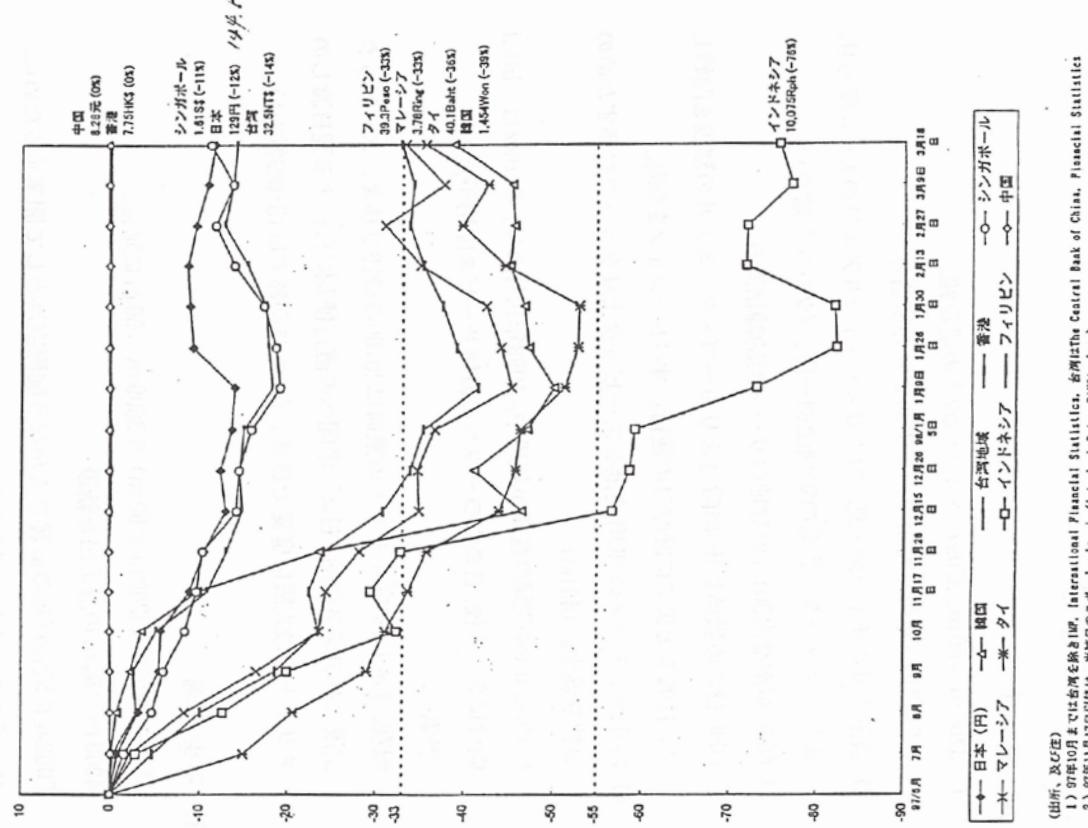
2. 外国資本投資(国別)

(億ドル)	91	92	93	94	95	96	97	比率%
投資総額	4.2	3.3	3.3	8.8	8.2	12.8	10.5	100%
内 日 本	1.9	1.5	0.5	0.7	2.4	4.7	3.3	31%
米 国	0.8	0.6	0.4	0.8	0.6	2.9	1.2	11%
香 港	0.3	0.4	0.2	0.5	2.4	0.8	0.6	6%
韓 国	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	2%

(注) 対外債務、DSR(97/9)以外、97は全て通年計数

3. 貿易構成(商品別)

(億ドル)	91	92	93	94	95	96	97	比率%
輸出総額	88.4	98.2	113.8	134.8	174.5	205.4	252.3	100%
電子機器等	22.9	27.5	35.5	49.8	74.1	99.9	130.5	52%
衣料	18.6	21.4	22.7	23.8	25.7	24.2	23.5	9%
輸送機器	1.8	2.9	3.6	4.7	7.4	12.9	26.9	11%
ココナツツ	4.5	6.4	5.3	6.4	9.9	7.3	8.4	3%
鉱物資源	6.1	6.3	6.9	7.8	8.9	7.7	7.6	3%
輸入総額	120.5	145.2	175.9	213.3	263.9	318.9	363.6	100%
中間原材料	58.5	67.6	78.6	96.1	121.7	140.6	146.3	40%
通信機器	11.9	14.7	19.1	25.3	32.1	42.1	64.4	18%
発電機械	10.5	14.3	20.8	25.1	28.7	36.5	38.0	10%
鉱物性燃料	17.8	20.5	20.2	20.4	24.6	30.1	30.7	8%



(出所、記入)

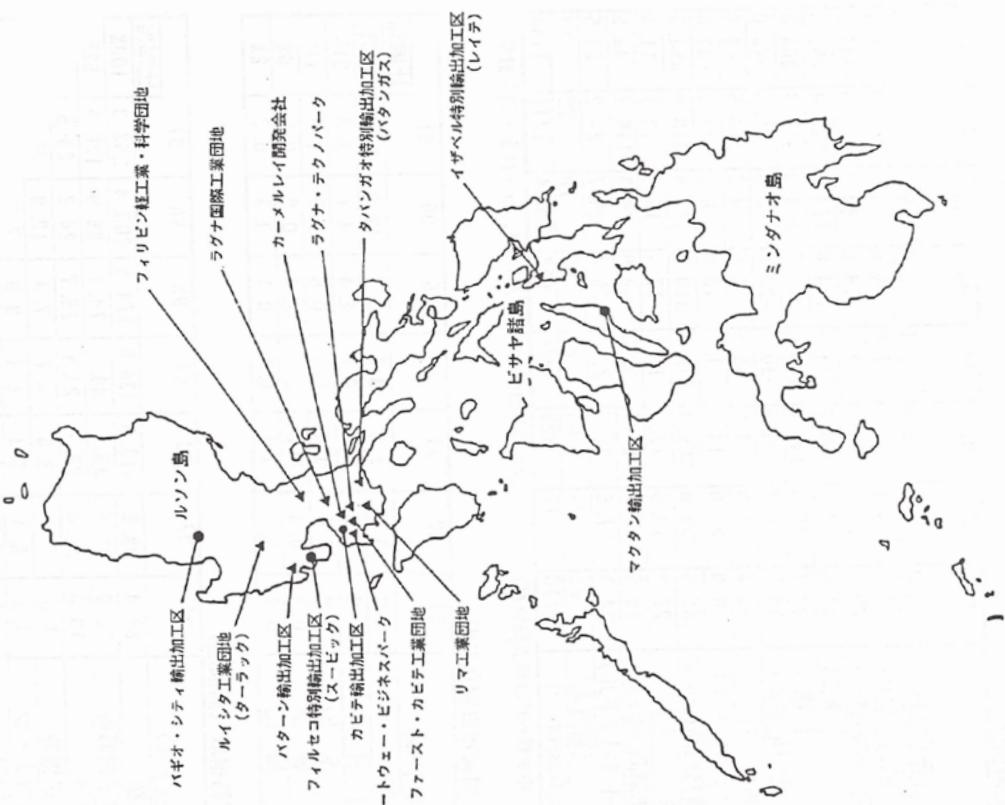
1) 97年10月までは当面実施(IWP: International Financial Statistics)、台陽はThe Central Bank of China, Financial Statistics

2) 97年11月17日以降は、当該日のスワット・レート (Starbank Rate, Olshh, Inc.)

## 輸出加工区の所在地

### 1. クラーク空港

#### A) 現状



1) 3200 m × 60 m、3200 m × 45 m の2本の滑走路。

1.5百万人/年の乗客用ターミナルビル設置済み。

2) 香港よりのチャーター便、およびオーストラリアよりのカーゴ便あり。また、クラーク－香港の定期便週一便。(グランド航空)

3) DHLが空港内30 ha の敷地のリース契約締結済み。

DHLはこの敷地に1998年7月よりカーゴ・ターミナルの建設を開始して、1999年末までに8便/日の運行、オペレーションを開始。

4) FedExがアジアのHUB空港をサービスよりクラークに移すための最終交渉中。(40 ha)  
FedEx/Intel共同の倉庫が建設中。1998年10月より、FedExは、Intel向けに2－3便/日のクラークへの直接サービス開始予定。

(参考)

現在、FedExのルイシタでの集荷は20:00の締切りゆえ、スピード空港よりアジア諸国、日本、米国への直行便7本/日による翌日渡しのメリットを最大限に享受できる。(マニラ南部では15:00締切り)。

#### B) 将来計画

既存の滑走路(3200 m × 60 m)を3600 m × 60 mに延長。

4000 m × 60 mの滑走路を新設。

2002年に5百万/年の乗客をまかなくう国際空港として開業するため、ターミナルビルおよびタキシーシュエイを新設。その後、15百万/年まで拡張予定。

凡例：  
通常の輸出加工区 (Export Processing Zone, EPZ) ●  
特別輸出加工区 (Special Export Processing Zone, SEPZ) ▲

## < IMF エコノミック OUT LOOK MAY '98 >

添付資料 - 1

GLOBAL REPERCUSSIONS OF THE ASIAN CRISIS AND OTHER ISSUES IN THE CURRENT CONJUNCTURE

Table 3. Advanced Economies: Real GDP, Consumer Prices, and Unemployment Rates  
(Annual percent change and percent of labor force)

	Real GDP				Consumer Prices				Unemployment Rates			
	1996	1997	1998	1999	1996	1997	1998	1999	1996	1997	1998	1999
Advanced Economies	2.7	3.0	2.4	2.5	2.4	2.1	2.1	2.0	7.3	7.1	7.0	6.7
Major Industrial countries	2.5	2.8	2.3	2.2	2.2	2.0	1.7	1.9	7.0	6.7	6.6	6.5
United States	2.8	3.8	2.9	2.2	2.9	2.3	2.0	2.4	5.4	4.9	5.0	5.0
Japan	3.9	0.9	(0.0)	1.3 <sup>1</sup>	0.1	1.7	0.9	0.4	3.3	3.4	3.6	3.6
Germany	1.4	2.2	2.5	2.8	1.5	1.8	1.6	1.7	10.4	11.5	11.4	11.2
France	1.5	2.4	2.9	3.0 <sup>1</sup>	2.0	1.2	1.4	1.8	12.4	12.5	11.9	11.3
Italy	0.7	1.5	2.3	2.7 <sup>1</sup>	3.9	1.7	1.8	1.7	12.1	12.3	12.0	11.6
United Kingdom <sup>1</sup>	2.2	3.3	2.3	2.1 <sup>1</sup>	2.9	2.8	2.9	2.6	7.5	5.6	4.9	4.8
Canada	1.2	3.8	3.2	2.8 <sup>1</sup>	1.6	1.4	1.5	1.9	9.7	9.2	8.5	8.2
Other advanced economies	3.8	4.0	2.9	3.6	3.2	2.6	3.7	2.7	8.5	8.2	8.5	7.5
Spain	3.3	3.4	3.4	3.7 <sup>1</sup>	3.5	2.0	2.1	2.3	22.2	20.8	19.7	18.5
Netherlands	3.3	3.3	3.8	3.1 <sup>1</sup>	2.1	2.2	2.0	2.2	7.6	6.6	5.6	5.1
Belgium	1.5	2.7	2.6	2.8	2.1	1.6	1.7	1.8	12.7	12.5	12.3	12.1
Sweden	1.3	1.9	3.0	2.8	0.8	0.9	2.0	2.0	8.0	8.1	7.0	6.5
Austria	1.6	2.5	2.8	2.7	1.9	1.3	1.4	1.5	7.0	7.1	6.9	6.9
Denmark	3.4	3.0	2.7	2.7	2.1	2.2	2.6	2.7	8.7	7.8	7.3	6.9
Finland	3.6	5.9	3.5	3.4	0.6	1.2	2.3	2.5	16.3	14.5	12.6	11.1
Greece	2.6	3.3	3.5	3.3	8.2	5.4	5.0	3.7	10.3	10.3	9.7	9.4
Portugal	3.3	3.5	3.7	3.2	3.1	2.2	2.1	2.0	7.3	6.7	6.6	6.5
Ireland	7.7	8.3	8.2	6.8	1.7	1.5	2.2	2.1	11.5	10.2	9.3	8.7
Luxembourg	3.5	4.8	4.1	3.5	1.4	1.4	1.2	1.4	3.3	3.7	3.9	4.2
Switzerland	-0.2	0.7	1.7	2.0	0.8	0.5	0.4	1.3	4.7	5.2	5.0	4.8
Norway	5.3	3.5	5.3	3.0	1.3	2.6	2.7	3.0	4.8	4.1	3.6	3.6
Israel	4.5	2.1	2.5	3.3	11.3	9.0	5.8	5.4	6.7	7.7	8.1	7.4
Iceland	5.2	4.8	4.0	3.8	2.3	1.7	3.0	3.5	4.3	3.9	3.6	3.3
Korea	7.1	5.5	-0.8	4.1	4.9	4.5	10.5	4.3	2.0	2.7	6.3	3.4
Australia <sup>2</sup>	3.6	3.1	3.2	3.4	2.7	1.7	1.9	2.5	8.6	8.6	8.1	7.5
Taiwan Province of China	5.7	6.9	5.0	5.2	3.1	1.1	4.0	2.0	2.6	2.7	2.4	2.4
Hong Kong SAR	4.9	5.3	3.0	4.3	5.2	4.5	4.5	4.5	2.8	2.2	2.5	2.4
Singapore	6.9	7.8	3.5	5.0	1.4	2.0	2.5	2.1	3.0	2.4	3.3	3.6
New Zealand <sup>2</sup>	2.8	2.2	2.7	3.1	2.3	1.8	2.1	1.8	6.1	6.8	7.0	6.5
Memorandum												
European Union	1.7	2.6	2.8	2.8	2.5	1.9	2.0	2.0	11.4	11.1	10.6	10.2

<sup>1</sup>Consumer prices are based on the retail price index excluding mortgage interest.  
<sup>2</sup>Consumer prices excluding interest rate components; for Australia, also excluding other volatile items.

Table 5. Selected Developing Countries: Real GDP and Consumer Prices  
(Annual percent change)

	Real GDP				Consumer Prices				Unemployment Rates			
	1996	1997	1998	1999	1996	1997	1998	1999	1996	1997	1998	1999
Developing countries									6.6	5.8	4.1	13.7
Median									4.5	4.5	4.5	4.8
Africa									5.5	3.2	4.6	10.5
Cameroun									5.0	5.1	5.0	5.0
Côte d'Ivoire									6.8	6.0	6.0	4.3
Ghana									5.2	3.0	5.6	28.3
Kenya									4.2	1.3	2.7	11.2
Morocco									12.1	-2.2	7.6	3.0
Nigeria									4.6	5.1	2.7	29.3
South Africa									3.2	7.4	8.6	6.0
Sudan									4.7	5.5	114.0	32.0
Tanzania									4.1	4.1	4.7	17.1
Tunisia									6.9	5.6	3.8	3.7
Uganda									8.1	5.0	7.5	7.8
SAFESAF countries <sup>1</sup>									5.9	5.9	5.9	5.6
CFA countries									5.3	5.5	6.0	5.1
Asia									8.3	6.7	4.4	3.9
Bangladesh									5.6	5.5	5.2	5.1
China									9.7	8.8	7.0	6.1
India									7.5	5.6	5.2	6.1
Indonesia									8.0	5.0	5.0	44.3
Malaysia									8.6	7.8	7.8	7.5
Pakistan									4.5	3.5	3.5	3.0
Philippines									5.7	5.1	5.2	8.0
Thailand <sup>2</sup>									5.5	-0.4	5.1	5.6
Vietnam									9.3	7.5	5.0	3.1
Middle East and Europe									4.9	4.4	3.3	24.5
Egypt									4.3	5.0	7.2	4.5
Iran, Islamic Republic of									5.1	3.2	2.8	22.7
Jordan									5.2	5.0	6.6	3.0
Kuwait									0.9	1.5	1.2	1.1
Saudi Arabia									1.4	2.7	1.8	1.7
Turkey									7.1	5.7	4.9	10.3
Western Hemisphere									3.5	3.4	22.3	13.1
Argentina									4.2	5.5	0.2	0.3
Brazil									2.8	3.0	1.5	3.3
Chile									7.2	6.6	7.4	6.0
Colombia									2.0	3.2	4.0	19.0
Dominican Republic									7.3	8.2	5.5	5.7
Ecuador									2.0	3.3	2.5	24.4
Guatemala									3.0	4.1	4.4	30.6
Mexico									5.2	7.0	4.8	34.4
Peru									2.6	7.5	5.0	20.6
Uruguay									4.9	6.0	3.3	19.8
Venezuela									-0.4	5.1	3.3	99.9

<sup>1</sup>African countries that had arrangements, as of end of 1997, under the IMF's Structural Adjustment Facility (SAF) or Enhanced Structural Adjustment Facility (ESAF).

<アジア経済研究所資料>

添付資料-2

B. IMFのEconomic Outlook 1998に見る経済指標

表1. 1998年改訂予測結果表  
-平成10年3月25日予測-

I. 先進工業国 : Real GDP (Annual percent change)

(単位: %)

経済成長率 (実質GDP)		一般物価上昇率 (GDPデフレーター)					
	1996	1997 <sup>(**)</sup>	1998 (改訂値)	1996	1997 <sup>(**)</sup>	1998 (改訂値)	
タ	4	6.4	-0.2	-3.0	6.2	8.3	12.0
インドネシア	8.0	4.7*	-5.5	8.5	10.9	40.3	
○マレーシア	8.6	7.8*	4.0	5.2	3.0	9.1	
○フィリピン	5.7	5.1*	3.8	9.0	6.1	11.8	
○ベトナム	9.3	9.0*	8.5	6.1	5.9	8.0	
ASEAN5 <sup>(**)</sup>	7.4	4.0	-1.3	7.2	7.9	21.5	
韓国	7.1	5.5*	0.4	3.4	5.2	10.9	
台湾	5.7	6.8*	6.3	2.7	1.8	2.6	
シンガポール	6.9	7.8*	5.6	1.4	1.5*	1.8	
香港	5.0	5.2*	2.6	5.4	5.9*	2.4	
NIEs <sup>(**)</sup>	6.3	6.0	2.9	3.3	4.0	6.4	
中国	9.6	8.8*	8.4	7.0	0.3*	3.6	
東アジア <sup>(**)</sup>	7.7	6.5	3.9	5.5	3.6	8.9	

II. 途上国 : Real GDP (Annual percent change)

	96	'97	'98	'99
米国	2.8	3.8	2.9	2.2
日本	3.9	0.9	-0.0	1.3
ドイツ	1.4	2.2	2.5	2.8
フランス	1.5	2.4	2.9	3.0
イタリー	0.7	1.5	2.3	2.7
英國	2.2	3.3	2.3	2.1
カナダ	1.2	3.8	3.2	2.8

	96	'97	'98	'99
インドネシア	8.0	5.0	5.0	5.0
フィリピン	5.7	5.1	2.5	2.5
タイ	5.5	-0.4	3.1	3.1
メキシコ	5.2	7.0	4.8	4.8
ペルー	2.6	7.5	5.0	5.0

	96	'97	'98	'99
(出所) IMF				

(注1) ASEAN5は、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム。NIEsは、韓国、台湾、シンガポール、香港。東アジアは、ASEAN5、NIEs、中国の10か国・地域。グループごとの成長率と一般物価上昇率は、1997年GDP(米ドル建、年平均為替レートを使用)をウェイトとした構成国・地域の加重平均値。なお、各國・地域の東アジア全体のGDPに占めるウェイトは次の通り、タイ6.5%、インドネシア8.5%、マレーシア4%、フィリピン3%、ベトナム1%、韓国1%、台湾11%、シンガポール4%、香港7%、中國36%。

(注2) 1996年は実績値。1997年のうち\*がついているものは、各國・地域政府(暫定)値、その他はアジア経済研究所推計値。

### C. '98年米国の経済白書に見る「アジア経済の混乱」

#### D. アジア開発銀行（ADB）の「アジア開発展望'98年」に見る

1998年2月、「1998年経済諮問委員会年次報告」が発表された。このAnnual Report の第2章のBox 2-2 に記述されている「アジア経済の混乱」の内容を紹介する。

#### Box 2-2 アジア経済の混乱

- 1997年5月までにタイ国は、'96年8月からの通貨（バーツ）に対する4度目の投機的攻撃を受けた。
- この10ヶ月の間に金融危機と国際取支への影響がタイ・バーツを守る努力を持續できないような点まで達していた。
- これらのプレッシャーは、すぐに他のアジア新興諸国（特にインドネシア、マレーシア、韓国）に波及した。
- '97年6月から、インドネシア、韓国、タイ国は国際通貨基金（IMF）からの支援を要請して緊急融資を受けた。
- これらの各國政府当局と IMF によって作り上げられた調整プログラム（コンディショナリティ）は、金融市場を安定化させるために伝統的なマクロ経済政策と同時に金融・構造調整措置を求めている。
- ☆ これらの各國が経済的に安定するのは、いつ頃なのかの問い合わせに対し、第一に、政策公約をどれだけ積極的に実行するか、そして出来るかと云う点にかかっている。
- そして第二に構造改革と金融セクター改革がどれほど実施されるかにかかる。

経済成長率：1998年4月23日発表

- アジアの主要発展途上国の経済成長率  
(単位%、▲はマイナス、'98年、'99年は予測)

地域	年		'97	'98	'99
	'96	'97			
• 新興工業経済群					
香港	6.0		5.2	3.0	4.3
韓国		5.5	5.5	▲1.0	3.1
シンガポール		7.8		3.0	4.5
台湾		6.8		5.8	6.2
• 中国					
東南アジア	8.8		8.8	7.2	6.8
インドネシア		3.9		▲0.4	2.4
マレーシア		4.6		▲3.0	1.0
フィリピン		7.5		3.5	4.5
タイ		5.1		2.4	4.0
ベトナム		▲0.4		▲3.0	1.0
				9.2	6.5

(出所) : ADB

〈出所〉伊藤忠商事(株) G フィリピン工業計画  
開発関係資料 提供者; 小田原市 育柳様





地球カレントアイ/GLOBAL CURRENT



政策手腕とともに独裁時代の清算も間われるニストラダ新大統領（ロイター共同）

▼マルコス政権 1965年に就任したフェルディナンド・マルコス大統領は、72年に国内治安危機を理由に戒厳令を布告。新憲法を制定して長期独裁政権の足場を固めた。ただ、その陰で政権の腐敗や取り巻きとの競争が進行し、経済は混乱。86年の大統領選を機に国民の不満が噴き出した。

この辺で一度は勝利を宣言したマルコス大統領も、コラソン・アキノ氏を支持する軍の一部や、「ビープル・パワー」と呼ばれた民衆に追われる形でハワイに逃亡。死後、遺体は故郷の北イロコ

ス州に運ばれ、保存されていた。  
独裁時代は「女王」と呼ばれ、マルコスの後繼者と目されたイメルダ夫人は91年に帰国。95年に下院議員に当選した。同夫人に対しては最高裁で最近、独裁政権当時の汚職で棄権9-12年とする判決が出たばかり。収監される可能性が出ていている。

一方、マルコス家が不正に蓄えた隠し資産は10数億ドルともいわれるが、全容は明らかでない。

（トニー）ハーバードの政治学者たる立場からいへば、日本人の政治的・社会的問題は、必ずしも政治的問題ではなく、社会的問題である。政治問題は、たゞ表面的なものであつて、根本的には社会問題である。たゞ表面的な問題を解決すれば、社会問題は解決する。たゞ社会問題を解決すれば、政治問題は解決する。したがつて、政治問題は、必ずしも社会問題である。したがつて、政治問題は、必ずしも社会問題である。

問題を解くための基礎知識

# 比新政権の影に

内閣 マルコス派あり？

## 内閣・周辺に關係者

イメルダ夫人が七五年に  
マニラ首都圏の知事になつた  
当時、映画スターで首都  
圏の一角のサンファンの町

様	ト	ル	ド	ル	ト	ル
国	合	湾	オ	ン	W	N
8-123	24	331				
60-1	34	903				
5-519	24	007				
94-87	58	888				
7-261	19	433				
9-961	23	059				
7-743	5	8443				
1-74	17	238				
4-72	21	421				
073	2	0292				
5-45	4	2457				
8-44	4	5791				
5-38	20	925				
2-88	23	168				
4-69	0	8589				
4-69	0	8589				
00	2	5562				
968	1					

提供者 合計監査 売掛 増

#### 通貨クロスレート

6月28日、東京三友銀対顧客売り相場(ウォンは韓国外換銀、台湾ドル)

フィリピン1ペソ ; ¥3.2- . \$ ; ¥133.2-(H10.9.1) 1ペソ ; ¥3.14- . \$ ; ¥131.1-(H10.9.11)  
対顧客売り相場 (東京三菱銀、第一勧銀調べ)

## アジア危機影響のフィリピンで企業誘致

# 丸紅、工業団地を建設へ

丸紅では一九九〇年にイリジン社との合併により、日本初の工業団地（百五十億円）を建設している。アシト経済危機の影響は中国でも出ているものの、日本をはじめ各国からの企業誘致は進むと判断、二番目の工業団地を手がけたのである。

工業団地には、すでにセ  
イコーエプロン、日立電線  
など日本のメーカーが進出  
を決めており、丸紅では、  
年間四十数程度の分譲を予  
定している。

七一八年後には完成した  
い考えで、入居する企業に  
優先的に利用してもらいた  
め、団地内に年間三十七万  
個のコンテナを出荷できる  
コンテナヤードを整備する  
計画。

丸紅では「百六十社が入  
居すると」これらの企業の投  
資額は二十四億ドルのほ  
り、輸出総額も十億ドルは下

かない。また、従業員数も  
六万人にふくれる」（北條勝  
猛丸紅フリリビング社長）と  
試算している。

従業員数は家族を含める  
と二十万人を超えることが予  
想されるため、現在建設中  
のビジネスホテル（百一十一  
四室）に加え、一戸建ての  
コンドミニアムやタウン・  
ハウスなどを建設し、住民の  
街（四十五ヶ）として整備  
するほか、大型のショッピ  
ングセンターなどを誘致。  
将来は、敷地面積を六百五  
十畝に拡大し、都市空間を  
演出したいと考えた。

10万人の都市空間に

目標160社

〔マニラ4日〕堀尚之 丸紅は四日、フィリピン・マニラ郊外でショッピングセンター兼ビジネスホテル、住宅街などを併せ持つ大規模な工業団地（リマ工業団地）を建設し、七、八年後をめどに百六十社の企業を誘致する計画を明らかにした。従業員数は約六万人にのぼる規模で、いわば「産業都市」が出現する。工業団地建設はエストラダ政権が優先課題に掲げる外資誘致にも大きな役割を果たしつつある。インフラ（都市基盤）づくりにも効果が期待されるところから、国土開発のモデルとして ASEAN（東南アジア諸国連合）各国の注目を集めそうだ。

\***産経抄** この記事  
はフィリピンには  
関係ありませんが、  
南の会の究極はこ  
こにあるような気  
がしました。  
我々が求めている  
エンジョイして暮  
らせる環境、雰囲  
気を作り出すのは  
この笑顔ではない  
かと思います。

卷之三

「笑つのは健康の、る▼いま日本を取り巻く環  
境は、国際的であれ、国内的  
であれ、まさに、そこに在る  
危機、といった状況にある。  
に働くシステムたちに、う指  
導していたという。笑って  
いたくなくて  
あげなさい。笑いたくなくて  
も笑うのよ。笑顔が人間には  
必要な」。そういう感情が  
人ひとに幸福をもたらすと  
彼女は知っていた。▼金額  
を彼女は知っていた。▼金額  
不安に天候不順が追い打ちを  
かけて、この国は、日本列島  
人ひともい。ふさげるな。冗談  
総不況。(堺屋太一・経企庁  
長官)のがけつぶつに。ある。  
そのだからこそ笑顔は活性剤  
だろう。作り笑いでもいい、  
やせがまんでもいい、アハハ  
どうするといふのであ  
ラスするといふのであ  
素」とは昔からいわ  
れてきたことだが、  
医学的にみて大笑  
いするほど免疫力が向  
たとえ作り笑いであ  
から教示があった。  
者さんの実験では、作  
版で渋谷昌三・山梨医  
院までおきて立きつ面にハチ  
だ。▼かてて加えて、どしか  
の銀行でべらぼうな退職金話  
もあった。まだ払い切らない  
ローノの家を洪水に流された  
人もいる。ふさげるな。冗談  
じゃない。これでどうして笑  
えるのだといわれそだが  
しげの感情が生じてく  
る免疫力を持つ)が活  
用。むりやり笑顔をこ  
そむり笑ってみたい。笑い顔が  
そのままんでもいい、アハハ  
と笑って下さい。

フィリピン居住地探訪ツアーワークス

平成10年9月14日

計画者：「南国暮らし夢の会」事務局

本計画は、フィリピンでの生活を検討中の方々を対象に、ゆっくりと周遊出来るように1ヶ所の滞在を最低3泊出来る計画にし、全日程は2週間を予定する。尚会員外の方の参加も歓迎する。

出入国空港は成田及び大阪とし、行きはマニラ空港で全員合流、帰国時はマニラ空港にて解散とし日本の空港に向う。  
20名程度を1グループとし、添乗員（日本人ガイド、日本又はマニラ空港から）1名同行とする。下記の日程案はあくまでも希望であるが、本案を基本にして、旅行社の専門的な知識を加味した企画は出来るだけ尊重する。

フィリピン居住地探訪ツアーワークス

一日行程表

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	日程	朝食	昼食	夕食
1	1/25(月)	成田発 関空発 マニラ着	09:45 10:00 13:25 13:10	JL 741 TG 621 専用車	空路：マニラへ（マニラ空港にて全員合流） 陸路：エルトアズール・リゾート地内ホテルへ [エルトアズール泊]		機内	○
2	1/26(火)	エルトアズール滞在		専用車	エルトアズールリゾート地界隈（市場等）見学 「夢の村」計画地見学 フィリピンパラダイスコンプレックス見学 [エルトアズール泊]	○	○	○
3	1/27(水)	エルトアズール滞在			終日：自由行動 [エルトアズール泊]	○	×	×
4	1/28(木)	エルトアズール発		専用車	マニラ郊外；ミニティ「エルシウム」（小瀬さん荘）見学 ムンティナショナル・コンプレックス見学 市内コンドミニアム（マンション）見学 [マニラ泊]	○	○	○
5	1/29(金)	マニラ滞在		専用車	カリラヤ戦没者慰靈碑に参拝、（バグサンハン）ローズプリンセスホール（棟朝氏ホール）見学（ゲート） [マニラ泊]	○	○	○
6	1/30(土)	マニラ滞在		専用車	午後：自由行動 [マニラ泊]	○	×	×
7	1/31(日)	マニラ発	午後	航空機	空路：セブ島へ・ホテルへ直行 [セブ島泊]	○	○	○
8	2/1(月)	セブ島滞在		専用車	セブ島近在の居住地見学 [セブ島泊]	○	○	○
9	2/2(火)	セブ島滞在			終日：自由行動 [セブ島泊]	○	×	×
10	2/3(水)	セブ島発 マニラ着発	午前 午後	航空機 専用車	空路：マニラへ 陸路：バギオ・ホテル直行（所要時間5～6時間） *航空機が不定期で当てにならぬ為[バギオ泊]	○	○	○
11	2/4(木)	バギオ滞在		専用車	バギオ近在の居住地見学 [バギオ泊]	○	○	○
12	2/5(金)	バギオ滞在			終日：自由行動 [バギオ泊]	○	×	×
13	2/6(土)	バギオ発 マニラ着	午前	専用車	陸路：マニラへ [マニラ泊]	○	○	○
14	2/7(日)	マニラ発 成田着 関空着	14:45 16:25 19:40 21:00	専用車 JL 742 TG 620	出発まで自由行動 のちマニラ空港へ 空路：（帰国の途）成田へ 空路：（帰国の途）関空へ 着地にて解散	○	○	機内

摘要

- 1) ホテルのグレードはエルトアズール；ノボテル、マニラ；ニューワールド又はダイヤモンド、セブ島；マリオット又はシャングリラ、バギオ；バギオパレスを予定、旅行社の都合で変更する場合は同等クラスのホテルを選定する。
- 2) 旅行社の添乗員は同行する。尚 現地居住地区での講師、説明員（「南国暮らし夢の会」で人選する。）は日当5千円程度を見込んでツアーディナー組み込んで計画する。
- 3) マニラ（4名）及びエルトアズール（8名）程度は、塩見邸及び竹内邸に宿泊の希望者に対し、ホテル代金は差し引いて欲しい。（この件については1泊当たりの差し引き金額を提示の事）
- 4) 日程を長期に取れない方の為に、途中帰国の便宜を計る。（20名以上の参加者が出了場合の余剰人員数に充当する。）
- 5) 航空機会社の略号 JL；日本航空、TG；タイ国際航空を表す。

メモ

※1. 旅行代金は現在25万円と28万円の見積りが2社から提示されている。なお旅行代金はジョイント成立の旅行社に支払う事になる。

※2. 本ツアーワークス及び旅行代金（外貨の変動）は今後も多少の変更はお許しを請う。

以上

「南の会」収入と支出の集計  
平成9年11月～10年5月31日

平成10年6月20日

南国暮らし夢の会

会計担当 酒匂景司

1、収入の部合計 ----- ¥143,808-

1) 年会費徴集分 (33+24+16=73) 73名分 ; ¥73,000-

2) 寄付及び雑収入 ----- ; ¥70,808-

¥143,808-

(注) 会員登録76名の内、年会費未納者3名で日本2名フィリピン在住者1名は自動的に除籍?。

2、支出の部合計 ----- ¥79,957-

(H9年11月～H10年5月31日)

3、残金の部合計 ----- ¥63,851-

\*残金の所在 H.10.6.1. 現在

1) 郵便貯金通帳 ; ¥63,633- (6月1日¥11,000-振替口座から入金し、酒匂立替分の¥79,000-を払出返済)

2) 郵便振替口座 ; ¥0- (6月1日¥11,000-引出し郵便貯金通帳に入金)

3) 現金 ----- ; ¥218- (6月1日\*酒匂立替分の¥957-を払出)

¥63,851-

4、月別収支明細表 (H9年11月～H10年5月)

年	月	日	摘要	収入金額	支出金額	差引残高	備考
9	12	6	横浜セミナー会費残金 寄付	13808			
9	12	31	H9年12月度支出合計		3267		
10	1	11	南の会発起人会会費残金 寄付	860			
10	1	31	H10年1月度支出合計		9662		
10	2	14	竹内 司 様 寄付	50000			
10	2	28	H10年2月度支出合計		25667		
10	3	31	「南の会」年会費振替(銀33名分)	33000			
10	3	31	H10年3月度支出合計		2297		
10	4	1	郵便貯金利子	22			
10	4	30	「南の会」年会費振替(銀24名分)	24000			東京セミナー仮払
10	4	30	H10年4月度支出合計		18985		い関係は記載せず
10	5	9	斎藤 彰 様 寄付	2000			
10	5	12	東京セミナー会費残金 寄付	3803			
10	5	18	第1回役員会会費残金 寄付	315			
10	5	22	H10年5月度支出合計		20079		
10	5	31	「南の会」年会費振替(銀16名分)	16000			
			合 計	143808	79957	63851	

添付資料 1. 一般会計金銭出納帳、2. 特別会計金銭出納帳、3. 年会費金銭出納帳、

※4. 一般会計月別領収書の一覧、※5. 特別会計領収書の一覧、6. 資産台帳、

※印は次期会計担当者のみ添付。

以上

上記調査の結果、いずれも正確であることを認めます。

平成10年 6月20日

会計監査 池田徳三郎

会計監査 喜柳信

## § 第1回役員会出席者

青柳 信、池田徳三郎、山之内良隆、前沢敏雄、長谷川登志郎、西田忠正、平澤 信、酒匂景輝。

## I、第一回総会関係会計報告

・日 時; H10. 4. 25 (土) ・担当; 竹内 司、西田忠正、酒匂景輝

・総会会場; 東京都産業貿易センター地下第1、2会場 (Pm1.30~Pm4.50)

・懇親会会場; 銀座アスター・ベルシーヌ竹芝 (Pm5.30~Pm7.30)

1、総会関係 ・出席者; 58名 (来賓; 1名、会員; 47名、非会員; 10名、)

1) 収入; ¥28,500- (500×57名) 2) 支出; ¥26,185-

①会場費; ¥16,600- (東京都産業貿易センター会場) ②缶コーヒー他; ¥6,615- (缶コーヒー、紅茶等60本)

③資料送付; ¥1,370- (ヤマト運輸宅配便) ④資料返送; ¥1,600- (西濃運輸宅配便)

⑤資料作成; 資料作成費用 (主に複写費と欠席者の郵送費) は年会費により賄う。 [会長の資料は別途]

3) 差引残高; ¥2,315-

2、懇親会関係 ・出席者; 47名 (会員; 40名、非会員; 7名)

1) 収入; ¥235,000- (5,000×47名) 2) 支出; ¥228,512- 3) 差引残高; ¥6,488-

3、残金処分案; ¥8,803- (2,315+6,488=8,803)

1) 来賓謝礼 (ロングステイ・クラブ会長; 野田様); ¥5,000- (竹内会長は了承)

2) 「南の会」会計に繰入れ; ¥3,803- (竹内会長了承)

・上記案をご承認の程お願い致します。 ◎上記案を承認する。(全員一致)

## II、役員業務分担

No	部 門	業 務 内 要	担 当
1	会 長	会総括代表、現地情報収集、情報投稿、会員体験滞在、PRA取得支援	竹内
2	事 務 局	総会、役員会、会員入退会、年会費、名簿、情報投稿、会員対応、体験滞在取次	酒匂
3	会 計	一般支払、金銭出納記録、決算の事務、	平澤
4	広 報	会報; 原稿収集・編集・整理・校正・印刷・製本・発送、例会; 同左、	山之内、長谷川
5	例 会	例会及びその他催し等のテーマ策定、会場設定、運営管理、記録、発表、	前沢
6	情 報	南の会に関する情報収集及び投稿、会員個人の旅情報収集管理、	西田
7	監 査	会計の執行監査、	青柳、池田

## III、平成10年度運営案作成 (南の会を今後どのように運営する?)

## 1、予算表

## 収入の部

収 入 科 目	金 額
年会費 (駆け込み)	90,000
寄付	50,000
横浜セミナー残金寄付	13,808
発起人会残金寄付	860
東京セミナー残金寄付	3,803
役員会残金寄付	315
雑収入 (見込み)	9,214
合 計	168,000

## 支出の部

相 謝	支 出 科 目	金 額
A	会 報	81,000
B	総会(例会)資料	16,800
C	同上欠席者資料郵送費	19,200
D	入会予定者資料提供	18,750
E	通 信 費	15,000
F	事 務 消 耗 品 費	12,000
G	雑 費	5,250
	合 計	168,000

\*参考支出実績 (9/10/15 ~10/5/14)

金 額	備 考
27,183	120部作成(23p~19p)
8,629	
8,729	
12,251	
6,082	フィリピンとの会、BM
7,358	
268	役員会資料、郵送費他
70,768	

\*; 見込み雑収入 (赤字見込み分)

- 2、10年度予算(私案) ¥168,000- (役員会後に支出実績に則り変更)  
3、収入見込み合計; ¥168,000- (会員71組+販路19=90組; ¥90,000-、竹内会長寄付; ¥50,000-、その他)  
4、南の会の情報収集範囲をフィリピンに絞るか?。フィリピンに絞るならフィリピン全体か、ルソン島界隈か?  
◎情報は南国ならばフィリピンに限らずに会報などに記載する。勿論フィリピンが主でフィリピン全体の情報も出来る範囲で収集する。

- 5、秋季例会の件; 会長は今秋の例会を奈良県の懇意な方の厚意で安く出来そうとの話。  
◎関西開催は、もう少し南の会の基盤が出来てからのはうが良いのではとの意見もあり、結論は保留する。

#### IV、その他

- 1、役員会での賛否は出席者の1/2以上の同意を得て。重要事項は総会でも同意を得る。  
2、役員会開催回数について、①毎月、②隔月、③随時、いずれにするか。  
◎原則として毎月(都合の良い役員が出席し親睦を図る)とするが、都合の良い役員にて構成し欠席者には資料などを配布する。  
3、2年目のスランプならぬマンネリ化解消対策(横浜セミナー出席者24組が、今回入会者は14組で総会出席者は9組です。)をどうすれば良いか皆様のアイデアを是非出して欲しい。  
・本会が何時までも会員の気を引く魅力的な情報を提供出来るか??。  
4、会費について、上記の通り本会は¥1,000- の会費では賄えません。このまま竹内様の寄付に頼っていては、健全な会は運営出来ないのでないかと思います。皆様のご意向は?  
・本会は今後の生活を面白く楽しく生きようと模索している、所詮は遊び心のある会であろうと思います。それならば会員も役員も面白くやれる雰囲気にするため、ある程度は原資(月500円程度?)が必要では?  
◎会費¥1,000- の儘で活動を半減するか、それでは会の存在価値はない。  
◎会費を上げて健全な運営が出来るように、来年度は¥3,000- 程度に値上げ動議を平成11年春季例会に提案する。

#### 5、例会について

- 1) 資料を「南の会」で用意する必要が有るか?  
◎当分は「南の会」会費で用意する。  
\*参考; ロングステイクラブ[L.S.C]は例会は資料なしの話だけで、場合によっては講師の資料を有料で配布か、業者などの場合はパンフレットを無料配布と色々。  
\*参考; L.S.Cのサロン会は専門的になり受益者負担の原則で、会場費や資料は個人負担で会からの補助はない。  
2) 尚「南の会」は例会に出席しない人に資料を配布する必要が有るか?  
◎資料は本会費で用意するので当然配布する。(L.S.Cは当然配布しない。)  
3) 会員と非会員との差別をどうするか?  
◎当然差別すべきであり、最低会場代と資料代は頂くようとする。(L.S.Cは会員は会場費は無料で非会員は¥500- 頂く事になっている。名札は各人が用意、用意のない人には会場で販売している。)

- 6、資料請求者に対する資料提供範囲と料金などについて今後どうするか。  
◎資料請求者からは最初から資料代金と郵送料を要求するようにしたい。(L.S.C¥800-)当会は¥400- 程度?  
◎何故会員拡張の為に(入会するかどうか分からぬ人に)無料サービスの必要が有るか。本気で勉強したい人は有料でも情報は欲しい。本会は篤志家の慈善団体ではなく、会員から会費を徴集して運営している。  
◎何故会員をそんなに増やさなければならないか?  
・日本人村に40名の参加者を募るには、10倍の400組程度の会員が必要であろうとの発想から来ている。  
◎竹内会長のホームページに資料は有料で具体的に(○○○円)と改訂してもらう。  
◎竹内邸宿泊者にも会員と非会員との差別をしてもらうか.? (会員は割引するか、会員優先でとか)

#### 7、会報記載原稿の募集についての知恵は?

- ◎体験者などに原稿を依頼する。尚役員も寄稿してもらう。

#### 8、「日本人村」構想と「南の会」の関係について

本会はあくまでもフィリピンについての勉強会で、情報交換の場として考えています。しかし例会において日本人村構想の説明などについては協力（会則第5条〔事業〕7項）する。なお例会終了後の時間で、その有志の会合などを開催する事は妨げない。

但し具体的になつたら別組織の会か組合を発足して貰うと言う事で、竹内様（平成10年1月11日午後竹内夫人立会いの上）と酒匂では合意している。

4月25日の例会時の資料や説明でも、申込者が20名に達した時点で、申込者に集まってもらい、具体的に設立説明会を開催するとなつてゐる。

- ・本会でそれ以上の関わりを持った方が良いか？ \*上記原案の範囲で良いだろう。

#### 9、「日本人村」構想に關係なく医療保険制度を詳細に調査する必要がある。

旅行保険では日本で発生した持病などの疾病は別途とある、それではPRAビザを取得しても、一々薬を調達に日本に帰国するのであればPRAビザの意味がない。身動き出来なくなつたら大変な費用が掛かる事になる。

（PRAビザと医療保険制度について大使館や保険会社などの調査を有志で実施したい。）

10、役員のメンバーでフィリピンに出向きいろんな場所を体験したらどうか。？ \*是非そのような機会を検討したい。

11、報告事項・「南の会」その後の会員動向（5月17日現在71組になりました。）以上

◇————◇————◇————

### 「南の会」第3回役員会議事録 平成10年8月3日

例；◎協議合意事項

日時；H10年8月1日(土) Pm6.00~ 会場；メルパルク・東京(郵便貯金会館)1Fレストラン「ファンテン・ド・エ」・☎03-3433-7211  
出席者；寺前(西日本幹事)、青柳、西田、長谷川、酒匂(役員敬称略)

#### 、協議事項

1)各部門の年間計画提案と説明、

\*情報部(西田)

- ①フィリピン居住探訪ツアー立案、具体化支援。
- ②日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞各マニラ支局と竹内会長とのパイプ役を考えている。

\*広報部(長谷川)

- ①秋季会報発行、9月上旬発送目標。②秋季例会用資料作成；9月下旬
- ③春季会報発行；2月上旬発送予定。④春季例会用資料作成；4月中旬

\*会計監査(青柳)

- ①フィリピン関係情報を多方面から収集している。

\*西日本役員会(寺前)

- ①関西地区での秋季例会セット。
- ②京阪沿線生活情報マガジン(34.2万部)で会員及び例会出席呼掛ける。▲記事；事務局手配

\*事務局(酒匂)

- ①平成10年度の会員100組突破を目指す。  
②フィリピン居住探訪ツアー立案、具体化
  - ③会則改訂  
④通常業務の推進。
- 2)秋季例会について、(大阪より寺前幹事出席、概要説明) 会長希望期日10月3日から10日の間  
・秋季例会は関西地区で開催を第2回役員会で決定。@日時10月上旬(日曜から金曜日のウイークデーに1泊)  
◎会場選定基準；京都市内地下鉄沿線の中級以上のホテル又は旅館、予定出席者；40~50名  
◎第一日；午後：例会、夜：懇親会  
・第二日；3~4時間程度の観光  
◎会場選定は西日本役員にて行い、会員(東武商事[旅行社]勤務)の山越様に相談し8月中に決定。

3)秋季会報発行について、

- \*内 容；・表紙・目次・会長挨拶・秋季例会案内・アンケート集計(藤本様にアンケートの纏め依頼)
- ・フィリピン居住探訪ツアー案内・会員動向(名簿追加)・臨時東京例会での情報公開の要旨・フィリピン

- 関係情報　・会員からの体験記（鈴木栄吉様、小竹様、竹村様、足立様、長谷川）＝会則一部改訂案提案  
・会計報告　・役員会報告　・事務局からの便り　・その他……
- ☆「日本人村」を「夢の村」に改称し具体案紹介（別冊で竹内会長作成中、12～15頁程度）  
＊郵送の件、従来の郵送を今後はクロネコメール便（料金：300g:¥160、600g:¥210 [薄便料金100g:¥160]）を利用したい。
- ◎山之内幹事欠席のため来週中に具体的スケジュールを決定する。（広報担当役員と事務局）
- 4)会則一部改訂案提案、（資料添付）　この案を会報や秋季例会に提案するか？？？。
- ◎本案は秋季会報には掲載しないで、来春季会報に掲載し春季例会に提案する。  
なお各役員は本案を充分検討し役員会（12月までに）で練り上げる。
- 5)フィリピン居住探訪ツアー（日本旅行社とのジョイントで）計画、（資料添付）  
この企画をロングステイ・クラブの季刊誌にも載せたいとの業者の意向、パンフレット作成の関係上8月中には内容を纏めたいとのこと。（会員の数名の方と電話で話したところ是非参加したいと乗り気）
- ◎日本旅行社の見積もりは高いと思われる。　▲山越様との結果で事務局で交渉
- ◎会員の山越様（東武商事〔旅行社〕）に競争見積を依頼する。　▲事務局手配
- 6)西日本の役員会について、役員会資料を送付し（逆に西日本からも提案をもらい）、西日本事務局長として寺前様が推進役で開催して欲しい。
- ◎初回の呼び掛けは寺前幹事に段取りしてもらい、西日本事務局長は別途決めたい。
- ◎今回の資料は5部寺前幹事に送付し、上記役員会を開催する。
- 7)港区居住者の会員勧誘の件、　港区立商工館（第1回総会を行った貿易センターの6階）を借りるのに港区民が居ると、16名～96名までの部屋が6部屋、立地条件が良く安（半日¥700～¥4,000）く借りられる。
- ◎西田幹事に心当たりがある。
- 8)顧問選任の件、　（第一回役員会で、役員を増やし参加意識を持ってもらいたいとの意見をくみ入れたい。）  
◎顧問選任賛成、適任者選定は事務局に一任する。尚顧問の役員会出席も賛成。
- 9)委員委嘱の件、　現状のような手作り会報だと、発行時には一時的に協力が必要である。  
◎今のところ会報と例会資料に絞り委員委嘱を考える。1-3)により検討する。
- 2、第1回役員会の議事録につき会長との合意点及び報告事項
- 1)年会費について、来年度からは¥3,000-に増額する動議賛成。（ある会員の意見は、フィリピンの情報は持っている人でも、会費が¥1,000だから入ってみるかという人はいるが、¥3,000-になると躊躇するだろう。）
- 2)例会の際の非会員との差別について、資料代（年会費負担）は非会員出席者から¥500程度の徴収は仕方ない。
- 3)「南の会」の資料請求者に対する資料の無料提供について、今後は有料にしても良いと思う。なお会長発信のホームページに、80円切手5枚（¥400）同封にて資料請求されるよう依頼、7月から実施され今日までに4名の方が切手を同封され資料請求ある。
- 4)竹内邸宿泊者は、原則として「南の会」会員と限定しても良い。
- 1)富士総合研究所の件、　富士銀行グループで、研究所の活動の一環として会報等に掲載したい。その為に担当部長が近日竹内邸を訪問したいとのことです。その結果で、東京の研究所で会員数名の方々に対談形式で情報提供をしてもらうかもしれない。その節は宜しくとの事。
- ◎役員一同協力する。
- 2)毎日新聞社・「青い山脈」担当の青戸様から電話で「南の会」の様子伺いがあり、資料とスナップ写真の送付依頼がある。その内に大きな記事ではないが掲載出来るかもしれないとの話です。
- ◎事務局はもう一押してみる。
- 3)竹内会長からの連絡、竹内邸では日本からのFAXが上手く受信出来ないので、今後の連絡は当分の間次の所にして下さい。日本からのFAX No001-63-2-566-7474のMr TAKEUCHI 宛と記す。友人の会社；ADI永瀬社長の事務所です。
- 4)会員動向、会員85組で約120名です。（会員名簿・資料添付）

凡例 ◎印；決定、☆印；意見  
※印；想定・事務局提案

## 「南の会」 第4回役員会議事録

平成10年9月5日

### ◇会場、日 時

- ・日時；H10年9月4日（金） Pm6.00～9.15 ・場所；メルパルク・東京
- ・出席者；池田、山之内、前沢、長谷川、西村（顧問）、酒匂

### ◇協議事項、その他

1、「南の会」顧問選任 会員No36西村憲司（伊豆）、No67明石一三（大田区）、No72小澤<sup>ひとし</sup>整（八王子市、新宿）

2、現役員紹介

3、秋季例会について、

(1) 大阪例会について、京都の地下鉄沿線の中級以上のホテルを予定していましたが、セミナー会場費の関係で（京都では殆ど4時間で¥7,000～¥8,000）セミナー出席のみで一人当り2千円以上になるため大阪に変更したい。

◎第1案 期日10月25日（日）午後（休日ならば多くの人を集められる）とする。

◎会場；新大阪駅近くのチサンホテル予約（新大阪駅より徒歩6分で会場費4時間で¥42,000-）

※出席見込み40～50名 ※会費；1名当り¥1,300円前後（出席者数により変動）

(2) 懇親会について、◎会場；メルパルク大阪（地階1階レストラン・カトレアにて）

◎期日；10月25日（日）Pm5.30～Pm8.00（遠方から的人が日帰り出来る。） ※会費；¥6,000～¥7,000円

(3) 宿泊施設 メルパルク大阪に10月25日（日）シングル5室、ツイン10室予約

4、会報発行について、9月中旬には発送予定で準備中 ◎9月20日迄には発送する。

5、フィリピン居住探訪ツアーを旅行社とのジョイントで検討、

◎・第1案；マニラ、バギオ、セブ、プエルトアズール15日間、今回は第1案のみで勧める。

☆第2案を出して人数が分散し纏まらないと意味がない。冬のフィリピン（バギオ）の寒さも貴重な体験である。

\*見積額 N旅行社；見積約¥280,000-、P-J旅行社；見積約¥250,000-（外貨変動で多少の変動ある。）

◎見積額が高いので別の旅行社でも（時間的にまだ余裕があるので）調査する。（フィリピンに強い旅行社に友人がいる。池田）見積額は出来るだけ会報に記載したいので9月12日迄に提示して欲しい。

◎期日；平成11年1月25日より2月8日（15日間内定）

6、その他 ・各役員からの提案

☆例会は次回からは東京を主体に考えたい。会員も東日本が多いので、西日本で開催の必要がある場合は両方で開催する。勉強会なので会員一同が一箇所に集まる必要もない。（「夢の村」は別） ◎この意見に全員賛成。

・法人会員希望をどうする？

☆現状では本会に法人会員は必要ないだろう。（法人が参加すると商行為などのトラブルなど懸念される。）

法人で本会の情報が欲しければ、個人会員で入会して貰えばそれなりの情報は入手出来る。

◎この意見に全員賛成。

7、報告事項

・会員動向；別添名簿では93組だが下記により実質91組。

故に退会者2名の会員番号は欠番とし、No85の黒滝様は今回番号が若い（名簿発行が少ない）ので削除する。

◇情報（前沢） 「バンクオブ・フィリピン」（元国営銀行）の日本支店（TEL 03-5401-3300）が東京の虎ノ門にある。金利はフィリピン並で外貨に交換が容易である。（フィリピンで預金するとペソでの引き出しは問題ないが、外貨に交換して引き出しは殆ど無理、[外貨の準備が無いとか何とか難癖を付ける]）

・私見、フィリピンで暮らす人でも上記のようなフィリピンの銀行の日本支店に預金して、両方で換金出来るように対策しておいた方が良い。（但しPRA関係銀行と為替リスク関係は別問題）

8、次回役員会日時、場所は10月上旬で出来るだけ役員の出席出来る日時を選定し連絡する。

◎場所はメルパルク・東京（郵便貯金会館）1Fレストラン「ファンテン・ド・エ」・☎03-3433-7211とする。

以上

H10.9.15、3回分の議事録を抜粋（校正なし）酒匂 記

## § 事務局から

この度、第2号会報を発行出来ることは会員はじめ会長及び役員の方々の、一方ならぬご協力のお陰と感謝しております。尚 本会報の送付案内書は添付しませんので悪しからずお許し下さい。

本会会員数も半年で（9月16日現在）94組132名の方々に入会して頂き、私の予想をはるかに上回る会員数になりました。当初の予想では1か年間で90組程度を想定していました。その理由は「南の会」発足総会後一時入会者が減少し、そのペースだとせいぜい90組程度だろうと踏んでいましたので、この傾向は喜びに絶えません。特にインターネットのホームページを見て資料請求される方が、この7月から有料（資料請求代金¥400）にした為か、請求される方も真剣に考えた上で請求のせいでしょうか、7月から8月の資料請求者23名の内入会者が12組と、50%以上の歩留りをクリアしました。（従来の入会者歩留りは20%台でした。）

この10月25日に西日本の役員の方々のご協力を得て、大阪に於いて例会と懇親会を開催することに致しました。年2回の仲間同志で話し合える良い機会です。万障繰り合わせの上ご出席をお願い致します。

役員会議事録について、かなり多くの頁数がある為に要点を抜粋しましたが、余りカットすると役員会の雰囲気が伝わらないようで、つい広報担当幹事の長谷川様に相談し、会員の立場で必要無い事項をカットする事にしました。それでも余りカット出来ず、この様に多い5頁も使いました。今後は出来るだけ要点を纏めて掲載したいと思います。役員会は別紙のごとく毎月開く事にしました。酒など酌み交わしながら和気あいあいとやっています。会員の方で都合の付く方が出席し情報交換の場として、この雰囲気に興味のある方は是非声を掛けて下さい。ご出席歓迎します。役員会と言うより、同じ夢を持つ者同士の情報交換会と思って戴ければ良いでしょう。

先日 布井敬次郎様の著書「海外で暮らす」を拝読し、日本人が海外で暮らすなら次の5カ国（アメリカ・カナダ・オーストラリア・フィリピン・フィジー）を推薦されています。発行者；（株）ビジネス社（H10.3～H10.8.9版発行）尚 当会会員の戸田智弘様の著書「老後をアジア・リゾートで暮らす」を拝読し、我々が目指している方向は客観的に見ても間違いないのだと、我が意を得た気がしております。（この2冊は皆様方に是非読んで欲しい図書です。）

ところで広報担当幹事に代わり、会員の方々にアンケートの集計や投稿、情報提供、表紙のイラストなどを依頼し、それに対し快く引き受けて頂き本当に有り難く思っております。

皆様方のお陰で内容のある会報になりました。本紙面にて厚くお礼申し上げます。

私ごとを少し記します、高校から機械系で文学に関係のない道を歩いてきたため、作文については全く疎く文末表現を統一出来ずに、妻や娘にちょいちょい指摘されますが私は全然直す気はありません。この様な私が書いた文章を読まされる皆様は、大変読み辛い事でしょうが我慢して下さい。でも校正を依頼した文章は、校正された通りに訂正しています。

今回の会報は、両面コピーの出来る店を探し当て、頁数を増やす事が出来ました。少々読み辛いでしょうが情報の多いほうが良いと思います。

皆様方と大阪の例会で歓談出来るのを楽しみにしております。では皆様健やかにお過ごし下さい。

事務局 酒匂

## § 後記

第2号会報作成にあたり、会員の方々からの投稿（鈴木様、竹村様、小竹様、H. A様）及びアンケート集計記録（藤本様）、情報提供（青柳様）、校正（西田夫妻様、酒匂愛子様）、製本（宮崎喜作様）などのご協力を得て、この様な会員手作りで完璧な出来とは言えませんが、素人集団の作品としては立派な会報を作成することが出来たと喜んでおります。

創刊号より会報作成を手掛けられた「酒匂」事務局担当者と、数回の編集会議に同席しもらい作成させて戴く機会を持ちました。今回は我々には初めてのため、酒匂氏に全面的に協力してもらいましたが、次号は会員に会報関係の協力希望者がありますので、その方々のご協力を戴き、早めに手掛け今回以上の出来栄えを目指しています。皆様方の投稿や情報提供、表紙イラストなど、今後とも宜しくお願ひ致します。

今後もふしぎな仲間達（高齢者でも前向きで年齢差を感じない）との一期一会に思いを深くしております。

広報担当幹事；山之内、長谷川